

資 料 編

- 資料 1 Children's Act 1989 1989年児童法（邦訳と原文）
- 資料 2 Common Assessment Framework for Children and Young People (CAF)
各機関が共有するアセスメントフレームワーク
- 資料 3 General Social Care Council (2002). Code of Practice for Social Care Workers and Code of Practice for Employers of Social Care Worker.
「ソーシャルワーカーのための行動規範」（邦訳）
- 資料 4 South London and Maudsley NHS. KEEPSAFE PROJECT: Assessing and helping children and young people with sexually inappropriate or abused behaviors.
（「あなたを守るために——性的虐待を受けた子どものアセスメントと支援」パンフレット・邦訳と原文）
- 資料 5 Mulberry Bush School Integrated Treatment Plan
（マルベリーブッシュスクールにおける統合的治療計画の邦訳と原文）
- 資料 6 Every Child Matters: Change for Children OUTCOMES FRAMEWORK

視察先で収集した資料一覧

視察先で教示され、帰国後収集した資料一覧

資料1 1989年児童法（邦訳と原文）



1989年児童法 チャプター41 第V部 児童の保護

第43条 児童判定命令

- (1) 地方自治体または権限者が、児童に関して本条に規定する命令を申請した場合、裁判所は以下の条件が満たされたとき、かつ、そのときに限り当該命令を発することができる。
 - (a) 申請者の側に、当該児童が深刻な虐待を受けていることまたはその可能性を疑うに足る合理的な理由があるとき
 - (b) 申請者が、当該児童が深刻な虐待を受けているか否か、またはその可能性があるか否かを判定するために、当該児童の健康もしくは発育状態、またはその養育方法の判定が必要とされ、
 - (c) 本条に規定する命令がなければ、そうした判定ができないか、または不満足なものになる可能性が高いとき。
- (2) 本法において、「児童判定命令」の語句は、本条の規定する命令を意味する。
- (3) 裁判所は、本条の規定する申請を緊急保護命令の申請として扱うことができる。
- (4) 裁判所は、以下の要件が満たされた場合には、児童判定命令は発しない。
 - (a) 当該児童に関して、緊急保護命令を発する根拠があり、かつ
 - (b) 児童判定命令ではなく緊急保護命令を発すべき場合。
- (5) 児童判定命令は、
 - (a) 当該判定の開始日を指定し、かつ
 - (b) 開始日から7日間を超えない期間を規定、それを命令書に記載できる。
- (6) 児童に関する判定命令が発せられた場合、当該児童を出頭させるべき立場にある者は、
 - (a) 当該児童を、当該命令で指名されている者の下に出頭させ、かつ
 - (b) 当該児童の判定に関して、管轄裁判所が当該命令書に記載すべきとみなした指図に従う義務を負う。
- (7) 児童判定命令またはその一部を実施する者は、当該命令によりその条件に従って判定を実施する権限を付与される。
- (8) 第7項の規定にかかわらず、当該児童に正確な情報に基づいて判断を下す十分な理解力が備わっている場合、当該児童は、医学または精神医学上の検査または判定を受けることを拒否できる。
- (9) 当該児童は、
 - (a) 当該命令が規定する指図に従い
 - (b) 判定目的の趣旨から必要な場合で、かつ
 - (c) 当該命令が規定する期間（複数の期間も含む）に限って、家庭から隔離できる。
- (10) 当該児童を家庭から隔離する場合、当該命令には、当該児童が隔離中に権利として認められる他者との交流に関して、裁判所が適切とみなする指図を記載するものとする。

- (11) 児童判定命令の申請をなす者は、当該申請にかかる公聴会の開催までに、以下の者に申請通知が送達できるよう、合理的に実行可能な措置を講じるものとする。
- (a) 当該児童の両親
 - (b) 両親以外で当該児童に対して保護責任を負う者
 - (c) その他の当該児童の庇護者
 - (d) 当該児童に関して交流命令が発せられた者
 - (e) 第34条の規定する命令により当該児童との交流が認められている者、および
 - (f) 児童本人
- (12) 裁判所規則には、
- (a) 第11項に記載する者、または
 - (b) 当該規則に特定される他の者が、
- 児童判定命令の変更または取り消しを当該裁判所に申請できる条件に関する規定を設けることができる。
- (13) 本条において「権限者」とは、第31条の目的のために権限を認められた者を意味する。

第44条 児童の緊急保護命令

- (1) 何人か（以下「申請者」と称する）が管轄裁判所に対して、児童に関して本条に規定する命令を申請した場合は、当該裁判所は、以下の条件が満たされたとき、かつ、そのときに限り当該命令を発することができる。
- (a) 以下の措置が講じられない場合には、当該児童が深刻な虐待を受ける可能性があると信じる合理的な理由があるとき。
 - (i) 当該児童を、当該申請者もしくはその代理者の供する施設に移動させる、または、
 - (ii) 当該児童を、その時点で収容されている施設に留め置く
 - (b) 地方自治体が申請をなした場合で
 - (i) 当該児童に関し、第47条第1項第b号に規定する調査が実施されている場合
 - (ii) 面接請求権者が、当該児童への面接を合理的な理由なく拒否されることにより上記調査が実施できず、かつ、申請者が、当該児童への面接が緊急に求められると信じる合理的な理由がある場合、または
 - (c) 権限者が申請をなした場合で
 - (i) 申請者が、児童が深刻な虐待を受けていること、またはその可能性があることを疑う合理的な理由があるとき
 - (ii) 申請者が、当該児童の福祉に関する調査を実施しており、かつ
 - (iii) 面接の請求権限者が、当該児童への面接を合理的な理由なく拒否されることにより上記調査が実施できず、かつ、申請者が、当該児童への面接が緊急に求められると信じる合理的な理由があるとき
- (2) 本条において
- (a) 「権限者」とは、第31条に規定する目的のため権限を与えられている者を意味する。
 - (b) 「面接の請求権限者」とは、以下の者を意味する。
 - (i) 申請者が地方自治体の場合は、当該自治体の公務員または当該調査に関して当該自治体を代理して行動する権限を当該自治体から与えられた者
 - (ii) 申請者が権限者の場合は、本人
- (3) 何人たりとも、
- (a) 第1項に規定する調査に関連して、児童に対する面接を求める者で、かつ
 - (b) その権限があると主張する者は、
- 求めに応じて、当該権限者である旨を証するなんらかの正規の証明書類を呈示するものとする。
- (4) 本条に規定する命令（以下「緊急保護命令」と称する）の有効期間中、その命令は、
- (a) 当該児童を当該申請者の下へ出頭させよとの要求に応じる立場にある者に対して、命令として機能し、
 - (b)
 - (i) 当該児童を随時、当該申請者またはその代理者の供する施設へ移動させ、かつ、その場所に留め

- 置くこと、または
- (ii) 当該命令発出直前に、当該児童が収容されていた病院その他の場所からの移動を禁じることを許可し
- (c) 当該申請人が当該児童の保護責任を負うことを認める。
- (5) 児童に関する緊急保護命令の有効期間中、当該申請者は、
- (a) 当該児童の福祉を保護するため、第4項b号で付与された権限のみを行使するものとし、
- (b) 当該児童の保護責任を果たすに当たって、当該児童の福祉の保護または増進のため、(当該命令の有効期間に特に配慮して) 合理的に求められる措置のみを講じるものとし、かつ、
- (c) 本項の目的のため内務大臣が定める規則の要求を遵守するものとする。
- (6) 当該裁判所が緊急保護命令を発する場合、同裁判所は、
- (a) 当該児童と名指された者との交流の許可もしくは不許可、または
- (b) 当該児童の医学的もしくは精神医学的検査またはその他の判定に関して適切とみなした指図があれば、それを与えることができる。
- (7) 第6項b号に規定する指図が与えられた場合で、当該児童に正確な情報に基づいて判断を下す十分な理解力が備わっているときは、当該児童は、検査またはその他の判定を受けることを拒否できる。
- (8) 第6項a号に規定する指図には条件を付すことができ、第6項第b条に規定する指図は、
- (a) そうした検査もしくは判定を求めないとするか、または
- (b) 当該裁判所が別途指図しない限り、そうした検査もしくは判定を求めないとすることもありうる。
- (9) 第6項に規定する指図は、
- (a) 当該緊急保護命令が発された時点、またはその有効期間中随時与えることができ、
- (b) 本節の目的のため裁判所規則が規定する集団に属する者の要請により、随時変更される。
- (10) 児童に関する緊急保護命令の有効期間中に、
- (a) 第4項b号(i)に規定する権限を行使した当該申請者が、当該児童を復帰させても安全と判断するか、または
- (b) 第4項b号(ii)に規定する権限を行使した当該申請者が、当該児童をその場所から移動させても安全と判断した場合は、
- 当該申請者は、当該児童を元の場所に戻すか、(場合により) 児童の移動を許可するものとする。
- (11) 当該申請者が第10項の規定により、当該児童を復帰させるよう求められた場合、同人は、
- (a) 当該児童を直前まで保護していた者の保護の下に復帰させるか
- (b) それが合理的に不可能な場合は、以下の者の保護の下に復帰させるものとする。
- (i) 当該児童の親
- (ii) 親以外で当該児童に保護責任を有する者、または
- (iii) 当該申請者が(管轄裁判所の同意を得て) 適切とみなした者
- (12) 当該申請者が、第10項の規定により当該児童の復帰または移動の許可を求められた場合において、同人が、事例の状況の変化により必要と判断したときには、当該児童に関してかさねて(当該緊急保護命令の有効期間中は時随) その権限を行使できる。
- (13) 児童に対して緊急保護命令が発せられた場合、当該申請者は、第6項に規定する指図に従い、当該児童と以下の者との合理的な交流を許可する。
- (a) 当該児童の両親
- (b) 両親以外で当該児童に保護責任を有する者
- (c) 当該児童が当該命令の発出直前に同居していた者
- (d) 当該児童に関する交流命令が有効な者
- (e) 第34条に規定する命令により、当該児童との交流が許可された者、または
- (f) 以上の者の代理として行動する者
- (14) 合理的に可能な場合は常に、緊急保護命令には当該児童を名指し、それをしない場合は、極力詳しく本人を記述するものとする。
- (15) 第4項b号に規定する児童を移動させる権限、または移動を阻止する権限を行使する者を故意に妨害する者は、違法行為を問われるものとする。
- (16) 第15項に規定する違反に問われたものは、即決裁判により標準罰金表第3級を超えない罰金に処する。

第45条 緊急保護命令および附則の有効期間

- (1) 緊急保護命令は、8日を超えない範囲で当該命令に規定する期間有効とする。
- (2)
 - (a) 緊急保護命令を発した管轄裁判所が、本節に規定するものを除き、当該命令の有効期間を8日間と定め、
 - (b) その8日間の最終日が公休日（すなわちクリスマス、聖金曜日、銀行休日または日曜日）に当たる場合は、当該裁判所は、翌日以降の最初の非休日の正午を期限とする期間を定めることができる。
- (3) 第46条第7項に規定する申請に基づき緊急保護命令が発せられた場合、第1項に規定する8日間の期間は、第46条の規定により当該児童が警察の保護下に置かれた最初の日に始まるものとする。
- (4) 何人も
 - (a) 緊急保護命令の結果児童の保護責任を負った者、および
 - (b) 当該児童に関する庇護命令を申請する資格を有する者は、管轄裁判所に対して、当該保護命令の期限延長を申請できる。
- (5) 第4項の申請に基づき当該裁判所は、当該命令の期間を延長しなかった場合には、当該児童が深刻な虐待を被る恐れがあると信じる合理的な理由があるときに限って、7日間を超えない範囲で適切と判断する期間当該命令を延長することができる。
- (6) 緊急保護命令は、一回に限り延長できる。
- (7) 以下の証拠の採用を禁じるいかなる法の制定・施行にかかわらず、緊急保護命令の申請またはその関連審理を行う裁判所は、
 - (a) 当該審理の過程で、またはそれに関連して当該裁判所になされたすべての報告に含まれる陳述、または
 - (b) 当該審理の過程で提出された証拠のうち当該裁判所が、当該申請に適切と認めたものを証拠採用できる。
- (8) 以下の者は、当該裁判所に緊急保護命令の解除を申請できる。
 - (a) 児童本人
 - (b) 児童の親
 - (c) 両親以外の当該児童の保護者
 - (d) 当該児童が当該命令の発出直前に同居していた者
- (9) 当該裁判所は、当該緊急命令発出後72時間が経過するまでは、当該命令の解除申請の審理を開始しないものとする。
- (10) 緊急保護命令の発出もしくは発出拒否または当該命令の関連で当該裁判所が発する指図に対する上訴は、これを認めない。
- (11) 第8項の規定は、以下の場合には適用しない。
 - (a) 当該緊急保護命令の解除申請資格のある者が
 - (i) 当該命令が発された審理についての通知を受け（裁判所規則に従って）、かつ
 - (ii) 当該審理に出席していた場合または
 - (b) 第5項の規定により、その有効期限が延長された緊急保護命令に対するもの
- (12) 緊急保護命令を発した裁判所は、当該申請者が当該命令によって付与された権限を行使するに当たって、同人が望む場合には、登録医、登録看護師または登録保健師を同行できるよう命令することができる。

第46条 緊急時の警察官による児童の移動と収容

- (1) 警察官が、児童が深刻な虐待を被りかねないと信じる合理的な理由のある場合、同人は、
 - (a) 当該児童を適切な施設に移動させ、その場所に収容するか、または、
 - (b) 当該児童をその時点で収容されている病院その他の場所から移動できなくするために、合理的な措置を講じることができる。
- (2) 本法において、警察官が本条に規定する権限を行使する児童のことを、警察の保護下にあると称する。
- (3) 関係警察官は、児童を警察の保護下に置いた後合理的に可能な限り速やかに以下の措置を講じるものとする。

- (a) 当該児童が発見された地域を管轄する自治体に対して、当該児童に対して本条の規定に従いこれまでに講じた措置および講じるべく提議されている措置ならびにその採択理由を通知する。
 - (b) 当該児童が日常居住している地域の自治体（以下「関係自治体」と称する）に対して、当該児童が収容されている場所の明細を通知する。
 - (c) （当該児童に理解可能とみなされる場合は）本人に以下を通知する。
 - (i) 本条の規定によりこれまでに本人に対して講じた措置とその理由、および
 - (ii) 本条の規定により今後本人に対して講じられる可能性のある措置
 - (d) 当該児童の希望と考えを見出すべく、合理的に実行可能な措置を講じる。
 - (e) 本事例の調査は、管轄警察署長が本条の目的のため任命した警察官が担当するよう手配する。かつ、
 - (f) 警察の保護の下に置かれた当該児童の収容された施設が、
 - (i) 地方自治体またはその代理者が供したものの、または
 - (ii) 第51条の条件を満たす避難所でない場合、そのような施設に確実に移動させる。
- (4) 関係警察官は、児童を警察の保護下に置いた後、合理的に可能な限り速やかに、以下のものに対して、
- (a) 児童の両親
 - (b) 両親以外の当該児童のすべての保護者
 - (c) 当該児童が警察の保護下に置かれる直前に同居していた者
- 同人が、当該児童に対して本条の規定によりこれまでに講じた措置、その理由および本条の規定により今後講じられる可能性のある措置について通知するため、合理的に可能な措置を講じるものとする。
- (5) 調査に当たる警察官が、保護を解除すれば当該児童が深刻な虐待を被りかねないと信じる合理的な理由が存続している場合を除き、同警察官は第3項e号に規定する調査が終了次第、当該児童に対する警察の保護を解除する。
- (6) 児童の警察による保護は、72時間を超えてはならない。
- (7) 児童が警察の保護下にある間、受命警察官は、当該児童に関して関係自治体に代わって第44条に規定する緊急保護命令を請求することができる。
- (8) 第7節の規定によってなされる申請は、当該関係自治体の認識または同意の有無を問わない。
- (9) 児童が警察に保護下にある間は、
- (a) 関係警察官も受命警察官も、当該児童の保護責任を負わないが、
 - (b) 受命警察官は、本事例の状況如何にかかわらず、当該児童の福祉を保護し増進するとの目的にかなうべく行動するものとする（当該児童を警察の保護下に置き得る残り時間に特に配慮すること）。
- (10) 児童が警察の保護下に置かれた場合において、受命警察官が、当該児童と下記の者との交流が合理的で児童の利益になると判断したときには、これを許可する。
- (a) 当該児童の両親
 - (b) 両親以外の当該児童の保護者
 - (c) 当該児童が警察の保護下に置かれる直前に同居していた者
 - (d) 当該児童に関して交流命令が発せられた者
 - (e) 第34条に規定する命令により、当該児童との交流が許可された者、または
 - (f) 以上の者の代理として行動する者
- (11) 警察の保護下に置かれた児童が、関係自治体またはその代理人によって供される施設に収容されている場合、第10節の受命警察官は、関係自治体と読み替えられる。

第47条 地方自治体の調査義務

- (1) 地方自治体が、
- (a) その管轄区域に居住するか、またはそこで発見された児童が、
 - (i) 緊急保護命令の対象になる旨の通知を受けるか、もしくは
 - (ii) 警察の保護下にある旨の通知を受けるか
- または、

- (b) その管轄区域に居住するか、またはそこで発見された児童が深刻な虐待を受けていること、またはその可能性のあることを疑う合理的な理由がある場合は、当該自治体は、当該児童の福祉の保護または増進のため何らかの行動を採るべきか否かを決定する上で必要と考えられる調査を実行するか、実行させるものとする。
- (2) 地方自治体が、児童に関する緊急保護命令を得た場合、当該自治体は、当該児童の福祉の保護または増進のため何らかの行動を採るべきか否かを決定する上で必要と考えられる調査を実行するか、実行させるものとする。
- (3) 当該調査は、以下の判定を主目的とする。
- (a) 当該自治体は当該児童に関して、管轄裁判所に何らかの申請をなすべきか否か、または本法で認められたなんらかの権限を行使すべきか否か
- (b)
- (i) 緊急保護命令が発され、かつ
- (ii) 当該自治体またはその代理人が供した施設に収容されていない児童の場合（緊急保護命令の有効期間中に）そうした施設に収容することが、本人にとって最大の利益になるか否か。
- (c) 児童が警察の保護の下にある場合、当該自治体が第46条7項の規定する申請を請求することが、当該児童にとって最大の利益になるか否か。
- (4) 児童に関して、第1項に規定する調査がなされる場合、関係地方自治体は、（当該児童に対して講じるべき措置がある場合には、それを決定できるよう）
- (a) 自ら当該児童に面接するため、または
- (b) 当該自治体はその代理として委任した者が、当該児童に面接できるようにするため、合理的に実行可能な措置を講じるものとする。ただし、同自治体が当該児童に関して十分な情報を入手していると認めている場合を除く。
- (5) 当該調査の結果、当該自治体が当該児童の教育に関して究明すべき点があると判断した場合は、当該自治体は、関係地方教育機関と協議するものとする。
- (6) 本条に規定する調査の過程で、
- (a) 当該地方自治体の公務員、または
- (b) これらの調査に関して、当該自治体はその代理として委任した者が、
- (i) 当該児童との面接を拒否されるか、または
- (ii) 当該児童の所在に関する情報の提供を拒否された場合
- 当該自治体は、当該児童に対する緊急保護命令、児童判定命令、庇護命令または監督命令を申請するものとする。ただし、同自治体がそうした措置を講じることなく、当該児童の福祉が十分に保護できると認めた場合を除く。
- (7) 本条に規定する調査または点検の結論として、当該自治体が、緊急保護命令、児童判定命令、庇護命令または監督命令を申請しないことを決めた場合、同自治体は、
- (a) 当事例を後日再点検すべきか否かを検討し、かつ、
- (b) 再点検を決定した場合は、その開始日を定めるものとする。
- (8) 本条の規定を遵守した結果、地方自治体が、当該児童の福祉の保護または増進のための措置が必要と結論した場合、（その措置が自治体の権限に属し、かつ、それが合理的に実行可能な限りにおいて）その措置を講じるものとする。
- (9) 地方自治体が、本条に規定する調査を実施する場合、第11項に記載する者は、当該自治体から要請があったときには、この調査を支援する（特に、適切な情報と助言を与えて）義務を負う。
- (10) 第9節の規定は、本事例の状況の如何にかかわらず自治体への支援が不合理的な場合は、何人に対しても、地方自治体への支援を義務づけるものではない。
- (11) ここでいう支援者とは、以下の者をいう。
- (a) 地方自治体
- (b) 地方教育機関
- (c) 地方公共住宅機関
- (d) 地方保険機関、および
- (e) 本条の目的のため、内務大臣が任命する者

- (12) 地方自治体が、他の自治体の管轄区域内に日常居住すると見られる児童に対して、本条に規定する調査をなす場合は、当該の他自治体と協議するものとし、後者は、独自に所要の調査をなすことができる。

第48条 緊急保護が必要な可能性のある児童の発見を支援する権限

- (1) 緊急保護命令を発する裁判所の判断で、当該児童の所在についての十分な情報を、
- (a) 当該命令の申請者が有しておらず、かつ
 - (b) 他の者が有している場合
- 当該裁判所は当該申請者が求めにより、当該他の者に対して、当該児童の所在に関して同人が有している可能性のある情報の開示を求める条項を、当該命令に加えることができる。
- (2) 何人も、当該要請を遵守すると本人またはその配偶者が犯罪に巻き込まれる恐れがあるとの理由で、当該要請の遵守を免除されないものとする。ただし、遵守するにあたってなした供述または自白は、偽証罪を除くいかなる罪状の訴訟においても、本人またはその配偶者に不利な証拠として採用されないものとする。
- (3) 緊急保護命令は、申請者が、当該命令において特定された敷地に立ち入り、当該命令の対象者たる児童を捜索することを許可する。
- (4) 当該裁判所が、当該敷地内に緊急保護命令の発出が必要な別の児童が存在する可能性があると感じる合理的な理由があると認める場合は、当該裁判所は、当該申請者に対し、同敷地内の他の児童の捜索許可命令を発することができる。
- (5)
- (a) 第4項に規定する命令が発せられ、
 - (b) 当該敷地内で関連児童が発見され、かつ
 - (c) 当該申請者が、その児童に対する緊急保護命令を存続させる理由があると認める場合は、当該命令は緊急保護命令と同等の効力を持つものとする。
- (6) 第4項に規定する命令が発せられた場合には、当該申請者は当該裁判所に対して、結果を通知するものとする。
- (7) 第3項または第4項に規定する立ち入り権および捜索権を行使する者を故意に妨害した者は、罪に問われるものとする。
- (8) 第7項に規定する罪で有罪とされた者は、即決裁判により標準罰金表第3級を超えない罰金に処する。
- (9) 何人かによる本条に基づいた令状の申請を受けた裁判所が、
- (a) 過去に緊急保護命令による権限行使を試みた者が、当該敷地への立ち入りまたは当該児童への面接を拒まれて、その実行を妨害されたことがあると判断するか、または、
 - (b) 当該権限行使を試みる者が、それを妨害される可能性があると感じた場合は、
- 当該裁判所は警察官に対して、第a号または第b号に記載する者がその権限を行使するに当たって、必要に応じ合理的な実力の行使を伴う支援を命じる令状を発行することができる。
- (10) 本条に基づき発せられるすべての令状は、
- (a) 申請者がそれを希望し、かつ
 - (b) 当該令状を発する裁判所が、別途命令しない場合は
- 当該令状の申請者に同行する警察官に宛てて発せられ、同人によって執行される。
- (11) 本条に基づく令状の申請を許可した裁判所は、令状の執行に当たって関係警察官が希望する場合、同人に登録医師、登録看護師、登録保健師が同行するよう命じることができる。
- (12) 本条に基づく令状の申請は、裁判所規則の規定の形式と書式により作成されるものとする。
- (13) 合理的に可能な場合は常に、第4節に基づく命令、本条に基づく令状の申請および当該令状は当該児童を名指しするものとするが、名指ししない場合は、本人をできる限り詳しく記載するものとする。

第49条 保護児童の略取他

- (1) 故意に合法的な権限なく、または合理的な理由なく
- (a) 本条の規定が適用される児童を保護者の下から略取するか、
 - (b) そのような児童を保護者に会わせず、または

- (c) そのような児童に保護者からの逃亡または忌避するよう教唆、支援または扇動する者は、罪に問われるものとする。
- (2) 本条は、以下の児童に適用される。
- (a) 保護下にある者
 - (b) 緊急保護命令の対象
 - (c) 警察の保護下にある者
- また、本条において「保護者」とは、それぞれの場合により保護命令、緊急保護命令または第46条に基づき暫定的に当該児童を保護する者を意味する。
- (3) 本条に規定する罪で有罪とされた者は、即決裁判により6ヶ月を超えない懲役に処するか、標準罰金表第5級を超えない罰金に処するか、またはこれを併課する。

Children Act 1989

1989 CHAPTER 41

PART V PROTECTION OF CHILDREN

43 Child assessment orders

- (1) On the application of a local authority or authorised person for an order to be made under this section with respect to a child, the court may make the order if, but only if, it is satisfied that—
- (a) the applicant has reasonable cause to suspect that the child is suffering, or is likely to suffer, significant harm;
 - (b) an assessment of the state of the child’s health or development, or of the way in which he has been treated, is required to enable the applicant to determine whether or not the child is suffering, or is likely to suffer, significant harm; and
 - (c) it is unlikely that such an assessment will be made, or be satisfactory, in the absence of an order under this section.
- (2) In this Act “a child assessment order” means an order under this section.
- (3) A court may treat an application under this section as an application for an emergency protection order.
- (4) No court shall make a child assessment order if it is satisfied—
- (a) that there are grounds for making an emergency protection order with respect to the child; and
 - (b) that it ought to make such an order rather than a child assessment order.
- (5) A child assessment order shall—
- (a) specify the date by which the assessment is to begin; and
 - (b) have effect for such period, not exceeding 7 days beginning with that date, as may be specified in the order.
- (6) Where a child assessment order is in force with respect to a child it shall be the duty of any person who is in a position to produce the child—
- (a) to produce him to such person as may be named in the order; and
 - (b) to comply with such directions relating to the assessment of the child as the court thinks fit to specify in the order.
- (7) A child assessment order authorises any person carrying out the assessment, or any part of the assessment, to do so in accordance with the terms of the order.
- (8) Regardless of subsection (7), if the child is of sufficient understanding to make an informed decision he may refuse to submit to a medical or psychiatric examination or other assessment.

- (9) The child may only be kept away from home—
- (a) in accordance with directions specified in the order;
 - (b) if it is necessary for the purposes of the assessment; and
 - (c) for such period or periods as may be specified in the order.
- (10) Where the child is to be kept away from home, the order shall contain such directions as the court thinks fit with regard to the contact that he must be allowed to have with other persons while away from home.
- (11) Any person making an application for a child assessment order shall take such steps as are reasonably practicable to ensure that notice of the application is given to—
- (a) the child’s parents;
 - (b) any person who is not a parent of his but who has parental responsibility for him;
 - (c) any other person caring for the child;
 - (d) any person in whose favour a contact order is in force with respect to the child;
 - (e) any person who is allowed to have contact with the child by virtue of an order under section 34; and
 - (f) the child,
- before the hearing of the application.
- (12) Rules of court may make provision as to the circumstances in which—
- (a) any of the persons mentioned in subsection (11) ; or
 - (b) such other person as may be specified in the rules,
- may apply to the court for a child assessment order to be varied or discharged.
- (13) In this section “authorised person” means a person who is an authorised person for the purposes of section 31.

44 Orders for emergency protection of children

- (1) Where any person (“the applicant”) applies to the court for an order to be made under this section with respect to a child, the court may make the order if, but only if, it is satisfied that—
- (a) there is reasonable cause to believe that the child is likely to suffer significant harm if—
 - (i) he is not removed to accommodation provided by or on behalf of the applicant; or
 - (ii) he does not remain in the place in which he is then being accommodated;
 - (b) in the case of an application made by a local authority—
 - (i) enquiries are being made with respect to the child under section 47 (1) (b) ; and
 - (ii) those enquiries are being frustrated by access to the child being unreasonably refused to a person authorised to seek access and that the applicant has reasonable cause to believe that access to the child is required as a matter of urgency; or
 - (c) in the case of an application made by an authorised person—
 - (i) the applicant has reasonable cause to suspect that a child is suffering, or is likely to suffer, significant harm;
 - (ii) the applicant is making enquiries with respect to the child’s welfare; and
 - (iii) those enquiries are being frustrated by access to the child being unreasonably refused to a person authorised to seek access and the applicant has reasonable cause to believe that access to the child is required as a matter of urgency.
- (2) In this section—
- (a) “authorised person” means a person who is an authorised person for the purposes of section 31; and
 - (b) “a person authorised to seek access” means—
 - (i) in the case of an application by a local authority, an officer of the local authority or a person authorised by the authority to act on their behalf in connection with the enquiries; or
 - (ii) in the case of an application by an authorised person, that person.

- (3) Any person —
- (a) seeking access to a child in connection with enquiries of a kind mentioned in subsection (1) ; and
 - (b) purporting to be a person authorised to do so,
- shall, on being asked to do so, produce some duly authenticated document as evidence that he is such a person.
- (4) While an order under this section (“an emergency protection order”) is in force it —
- (a) operates as a direction to any person who is in a position to do so to comply with any request to produce the child to the applicant;
 - (b) authorises —
 - (i) the removal of the child at any time to accommodation provided by or on behalf of the applicant and his being kept there; or
 - (ii) the prevention of the child’s removal from any hospital, or other place, in which he was being accommodated immediately before the making of the order; and
 - (c) gives the applicant parental responsibility for the child.
- (5) Where an emergency protection order is in force with respect to a child, the applicant —
- (a) shall only exercise the power given by virtue of subsection (4) (b) in order to safeguard the welfare of the child;
 - (b) shall take, and shall only take, such action in meeting his parental responsibility for the child as is reasonably required to safeguard or promote the welfare of the child (having regard in particular to the duration of the order) ; and
 - (c) shall comply with the requirements of any regulations made by the Secretary of State for the purposes of this subsection.
- (6) Where the court makes an emergency protection order, it may give such directions (if any) as it considers appropriate with respect to —
- (a) the contact which is, or is not, to be allowed between the child and any named person;
 - (b) the medical or psychiatric examination or other assessment of the child.
- (7) Where any direction is given under subsection (6) (b) , the child may, if he is of sufficient understanding to make an informed decision, refuse to submit to the examination or other assessment.
- (8) A direction under subsection (6) (a) may impose conditions and one under subsection (6) (b) may be to the effect that there is to be —
- (a) no such examination or assessment; or
 - (b) no such examination or assessment unless the court directs otherwise.
- (9) A direction under subsection (6) may be —
- (a) given when the emergency protection order is made or at any time while it is in force; and
 - (b) varied at any time on the application of any person falling within any class of person prescribed by rules of court for the purposes of this subsection.
- (10) Where an emergency protection order is in force with respect to a child and —
- (a) the applicant has exercised the power given by subsection (4) (b) (i) but it appears to him that it is safe for the child to be returned; or
 - (b) the applicant has exercised the power given by subsection (4) (b) (ii) but it appears to him that it is safe for the child to be allowed to be removed from the place in question,
- he shall return the child or (as the case may be) allow him to be removed.
- (11) Where he is required by subsection (10) to return the child the applicant shall —
- (a) return him to the care of the person from whose care he was removed; or
 - (b) if that is not reasonably practicable, return him to the care of —
 - (i) a parent of his;
 - (ii) any person who is not a parent of his but who has parental responsibility for him; or
 - (iii) such other person as the applicant (with the agreement of the court) considers appropriate.

- (12) Where the applicant has been required by subsection (10) to return the child, or to allow him to be removed, he may again exercise his powers with respect to the child (at any time while the emergency protection order remains in force) if it appears to him that a change in the circumstances of the case makes it necessary for him to do so.
- (13) Where an emergency protection order has been made with respect to a child, the applicant shall, subject to any direction given under subsection (6), allow the child reasonable contact with —
 - (a) his parents;
 - (b) any person who is not a parent of his but who has parental responsibility for him;
 - (c) any person with whom he was living immediately before the making of the order;
 - (d) any person in whose favour a contact order is in force with respect to him;
 - (e) any person who is allowed to have contact with the child by virtue of an order under section 34; and
 - (f) any person acting on behalf of any of those persons.
- (14) Wherever it is reasonably practicable to do so, an emergency protection order shall name the child; and where it does not name him it shall describe him as clearly as possible.
- (15) A person shall be guilty of an offence if he intentionally obstructs any person exercising the power under subsection (4) (b) to remove, or prevent the removal of, a child.
- (16) A person guilty of an offence under subsection (15) shall be liable on summary conviction to a fine not exceeding level 3 on the standard scale.

45 Duration of emergency protection orders and other supplemental provisions

- (1) An emergency protection order shall have effect for such period, not exceeding eight days, as may be specified in the order.
- (2) Where —
 - (a) the court making an emergency protection order would, but for this subsection, specify a period of eight days as the period for which the order is to have effect; but
 - (b) the last of those eight days is a public holiday (that is to say, Christmas Day, Good Friday, a bank holiday or a Sunday),
 the court may specify a period which ends at noon on the first later day which is not such a holiday.
- (3) Where an emergency protection order is made on an application under section 46 (7), the period of eight days mentioned in subsection (1) shall begin with the first day on which the child was taken into police protection under section 46.
- (4) Any person who —
 - (a) has parental responsibility for a child as the result of an emergency protection order; and
 - (b) is entitled to apply for a care order with respect to the child,
 may apply to the court for the period during which the emergency protection order is to have effect to be extended.
- (5) On an application under subsection (4) the court may extend the period during which the order is to have effect by such period, not exceeding seven days, as it thinks fit, but may do so only if it has reasonable cause to believe that the child concerned is likely to suffer significant harm if the order is not extended.
- (6) An emergency protection order may only be extended once.
- (7) Regardless of any enactment or rule of law which would otherwise prevent it from doing so, a court hearing an application for, or with respect to, an emergency protection order may take account of —
 - (a) any statement contained in any report made to the court in the course of, or in connection with, the hearing; or
 - (b) any evidence given during the hearing,
 which is, in the opinion of the court, relevant to the application.

- (8) Any of the following may apply to the court for an emergency protection order to be discharged—
 - (a) the child;
 - (b) a parent of his;
 - (c) any person who is not a parent of his but who has parental responsibility for him; or
 - (d) any person with whom he was living immediately before the making of the order.
- (9) No application for the discharge of an emergency protection order shall be heard by the court before the expiry of the period of 72 hours beginning with the making of the order.
- (10) No appeal may be made against the making of, or refusal to make, an emergency protection order or against any direction given by the court in connection with such an order.
- (11) Subsection (8) does not apply—
 - (a) where the person who would otherwise be entitled to apply for the emergency protection order to be discharged—
 - (i) was given notice (in accordance with rules of court) of the hearing at which the order was made; and
 - (ii) was present at that hearing; or
 - (b) to any emergency protection order the effective period of which has been extended under subsection (5) .
- (12) A court making an emergency protection order may direct that the applicant may, in exercising any powers which he has by virtue of the order, be accompanied by a registered medical practitioner, registered nurse or registered health visitor, if he so chooses.

46 Removal and accommodation of children by police in cases of emergency

- (1) Where a constable has reasonable cause to believe that a child would otherwise be likely to suffer significant harm, he may—
 - (a) remove the child to suitable accommodation and keep him there; or
 - (b) take such steps as are reasonable to ensure that the child’s removal from any hospital, or other place, in which he is then being accommodated is prevented.
- (2) For the purposes of this Act, a child with respect to whom a constable has exercised his powers under this section is referred to as having been taken into police protection.
- (3) As soon as is reasonably practicable after taking a child into police protection, the constable concerned shall—
 - (a) inform the local authority within whose area the child was found of the steps that have been, and are proposed to be, taken with respect to the child under this section and the reasons for taking them;
 - (b) give details to the authority within whose area the child is ordinarily resident (“the appropriate authority”) of the place at which the child is being accommodated;
 - (c) inform the child (if he appears capable of understanding) —
 - (i) of the steps that have been taken with respect to him under this section and of the reasons for taking them; and
 - (ii) of the further steps that may be taken with respect to him under this section;
 - (d) take such steps as are reasonably practicable to discover the wishes and feelings of the child;
 - (e) secure that the case is inquired into by an officer designated for the purposes of this section by the chief officer of the police area concerned; and
 - (f) where the child was taken into police protection by being removed to accommodation which is not provided—
 - (i) by or on behalf of a local authority; or
 - (ii) as a refuge, in compliance with the requirements of section 51, secure that he is moved to accommodation which is so provided.

- (4) As soon as is reasonably practicable after taking a child into police protection, the constable concerned shall take such steps as are reasonably practicable to inform—
 - (a) the child’s parents;
 - (b) every person who is not a parent of his but who has parental responsibility for him; and
 - (c) any other person with whom the child was living immediately before being taken into police protection,
 of the steps that he has taken under this section with respect to the child, the reasons for taking them and the further steps that may be taken with respect to him under this section.
- (5) On completing any inquiry under subsection (3) (e) , the officer conducting it shall release the child from police protection unless he considers that there is still reasonable cause for believing that the child would be likely to suffer significant harm if released.
- (6) No child may be kept in police protection for more than 72 hours.
- (7) While a child is being kept in police protection, the designated officer may apply on behalf of the appropriate authority for an emergency protection order to be made under section 44 with respect to the child.
- (8) An application may be made under subsection (7) whether or not the authority know of it or agree to its being made.
- (9) While a child is being kept in police protection—
 - (a) neither the constable concerned nor the designated officer shall have parental responsibility for him; but
 - (b) the designated officer shall do what is reasonable in all the circumstances of the case for the purpose of safeguarding or promoting the child’s welfare (having regard in particular to the length of the period during which the child will be so protected) .
- (10) Where a child has been taken into police protection, the designated officer shall allow —
 - (a) the child’s parents;
 - (b) any person who is not a parent of the child but who has parental responsibility for him;
 - (c) any person with whom the child was living immediately before he was taken into police protection;
 - (d) any person in whose favour a contact order is in force with respect to the child;
 - (e) any person who is allowed to have contact with the child by virtue of an order under section 34; and
 - (f) any person acting on behalf of any of those persons,
 to have such contact (if any) with the child as, in the opinion of the designated officer, is both reasonable and in the child’s best interests.
- (11) Where a child who has been taken into police protection is in accommodation provided by, or on behalf of, the appropriate authority, subsection (10) shall have effect as if it referred to the authority rather than to the designated officer.

47 Local authority’s duty to investigate

- (1) Where a local authority—
 - (a) are informed that a child who lives, or is found, in their area—
 - (i) is the subject of an emergency protection order; or
 - (ii) is in police protection; or
 - (b) have reasonable cause to suspect that a child who lives, or is found, in their area is suffering, or is likely to suffer, significant harm,
 the authority shall make, or cause to be made, such enquiries as they consider necessary to enable them to decide whether they should take any action to safeguard or promote the child’s welfare.
- (2) Where a local authority have obtained an emergency protection order with respect to a child, they shall make, or cause to be made, such enquiries as they consider necessary to enable them to decide what action they should take to safeguard or promote the child’s welfare.
- (3) The enquiries shall, in particular, be directed towards establishing—
 - (a) whether the authority should make any application to the court, or exercise any of their other powers

under this Act, with respect to the child;

- (b) whether, in the case of a child —
 - (i) with respect to whom an emergency protection order has been made; and
 - (ii) who is not in accommodation provided by or on behalf of the authority,

it would be in the child's best interests (while an emergency protection order remains in force) for him to be in such accommodation; and

- (c) whether, in the case of a child who has been taken into police protection, it would be in the child's best interests for the authority to ask for an application to be made under section 46 (7) .

- (4) Where enquiries are being made under subsection (1) with respect to a child, the local authority concerned shall (with a view to enabling them to determine what action, if any, to take with respect to him) take such steps as are reasonably practicable—

- (a) to obtain access to him; or
- (b) to ensure that access to him is obtained, on their behalf, by a person authorised by them for the purpose,

unless they are satisfied that they already have sufficient information with respect to him.

- (5) Where, as a result of any such enquiries, it appears to the authority that there are matters connected with the child's education which should be investigated, they shall consult the relevant local education authority.

- (6) Where, in the course of enquiries made under this section—

- (a) any officer of the local authority concerned; or
- (b) any person authorised by the authority to act on their behalf in connection with those enquiries —
 - (i) is refused access to the child concerned; or
 - (ii) is denied information as to his whereabouts,

the authority shall apply for an emergency protection order, a child assessment order, a care order or a supervision order with respect to the child unless they are satisfied that his welfare can be satisfactorily safeguarded without their doing so.

- (7) If, on the conclusion of any enquiries or review made under this section, the authority decide not to apply for an emergency protection order, a child assessment order, a care order or a supervision order they shall —

- (a) consider whether it would be appropriate to review the case at a later date; and
- (b) if they decide that it would be, determine the date on which that review is to begin.

- (8) Where, as a result of complying with this section, a local authority conclude that they should take action to safeguard or promote the child's welfare they shall take that action (so far as it is both within their power and reasonably practicable for them to do so) .

- (9) Where a local authority are conducting enquiries under this section, it shall be the duty of any person mentioned in subsection (11) to assist them with those enquiries (in particular by providing relevant information and advice) if called upon by the authority to do so.

- (10) Subsection (9) does not oblige any person to assist a local authority where doing so would be unreasonable in all the circumstances of the case.

- (11) The persons are —

- (a) any local authority;
- (b) any local education authority;
- (c) any local housing authority;
- (d) any health authority; and
- (e) any person authorised by the Secretary of State for the purposes of this section.

- (12) Where a local authority are making enquiries under this section with respect to a child who appears to them to be ordinarily resident within the area of another authority, they shall consult that other authority, who may undertake the necessary enquiries in their place.

48 Powers to assist in discovery of children who may be in need of emergency protection

- (1) Where it appears to a court making an emergency protection order that adequate information as to the child's whereabouts—
 - (a) is not available to the applicant for the order; but
 - (b) is available to another person,it may include in the order a provision requiring that other person to disclose, if asked to do so by the applicant, any information that he may have as to the child's whereabouts.
- (2) No person shall be excused from complying with such a requirement on the ground that complying might incriminate him or his spouse of an offence; but a statement or admission made in complying shall not be admissible in evidence against either of them in proceedings for any offence other than perjury.
- (3) An emergency protection order may authorise the applicant to enter premises specified by the order and search for the child with respect to whom the order is made.
- (4) Where the court is satisfied that there is reasonable cause to believe that there may be another child on those premises with respect to whom an emergency protection order ought to be made, it may make an order authorising the applicant to search for that other child on those premises.
- (5) Where—
 - (a) an order has been made under subsection (4) ;
 - (b) the child concerned has been found on the premises; and
 - (c) the applicant is satisfied that the grounds for making an emergency protection order exist with respect to him,the order shall have effect as if it were an emergency protection order.
- (6) Where an order has been made under subsection (4) , the applicant shall notify the court of its effect.
- (7) A person shall be guilty of an offence if he intentionally obstructs any person exercising the power of entry and search under subsection (3) or (4) .
- (8) A person guilty of an offence under subsection (7) shall be liable on summary conviction to a fine not exceeding level 3 on the standard scale.
- (9) Where, on an application made by any person for a warrant under this section, it appears to the court—
 - (a) that a person attempting to exercise powers under an emergency protection order has been prevented from doing so by being refused entry to the premises concerned or access to the child concerned; or
 - (b) that any such person is likely to be so prevented from exercising any such powers,it may issue a warrant authorising any constable to assist the person mentioned in paragraph (a) or (b) in the exercise of those powers using reasonable force if necessary.
- (10) Every warrant issued under this section shall be addressed to, and executed by, a constable who shall be accompanied by the person applying for the warrant if—
 - (a) that person so desires; and
 - (b) the court by whom the warrant is issued does not direct otherwise.
- (11) A court granting an application for a warrant under this section may direct that the constable concerned may, in executing the warrant, be accompanied by a registered medical practitioner, registered nurse or registered health visitor if he so chooses.
- (12) An application for a warrant under this section shall be made in the manner and form prescribed by rules of court.
- (13) Wherever it is reasonably practicable to do so, an order under subsection (4) , an application for a warrant under this section and any such warrant shall name the child; and where it does not name him it shall describe him as clearly as possible.

49 Abduction of children in care etc

- (1) A person shall be guilty of an offence if, knowingly and without lawful authority or reasonable excuse, he—
 - (a) takes a child to whom this section applies away from the responsible person;
 - (b) keeps such a child away from the responsible person; or
 - (c) induces, assists or incites such a child to run away or stay away from the responsible person.
- (2) This section applies in relation to a child who is—
 - (a) in care;
 - (b) the subject of an emergency protection order; or
 - (c) in police protection,and in this section “the responsible person” means any person who for the time being has care of him by virtue of the care order, the emergency protection order, or section 46, as the case may be.
- (3) A person guilty of an offence under this section shall be liable on summary conviction to imprisonment for a term not exceeding six months, or to a fine not exceeding level 5 on the standard scale, or to both.

50 Recovery of abducted children etc

- (1) Where it appears to the court that there is reason to believe that a child to whom this section applies—
 - (a) has been unlawfully taken away or is being unlawfully kept away from the responsible person;
 - (b) has run away or is staying away from the responsible person; or
 - (c) is missing,the court may make an order under this section (“a recovery order”).
- (2) This section applies to the same children to whom section 49 applies and in this section “the responsible person” has the same meaning as in section 49.
- (3) A recovery order—
 - (a) operates as a direction to any person who is in a position to do so to produce the child on request to any authorised person;
 - (b) authorises the removal of the child by any authorised person;
 - (c) requires any person who has information as to the child’s whereabouts to disclose that information, if asked to do so, to a constable or an officer of the court;
 - (d) authorises a constable to enter any premises specified in the order and search for the child using reasonable force if necessary.
- (4) The court may make a recovery order only on the application of—
 - (a) any person who has parental responsibility for the child by virtue of a care order or emergency protection order; or
 - (b) where the child is in police protection, the designated officer.
- (5) A recovery order shall name the child and—
 - (a) any person who has parental responsibility for the child by virtue of a care order or emergency protection order; or
 - (b) where the child is in police protection, the designated officer.
- (6) Premises may only be specified under subsection (3) (d) if it appears to the court that there are reasonable grounds for believing the child to be on them.
- (7) In this section—

“an authorised person” means—

 - (a) any person specified by the court;
 - (b) any constable;
 - (c) any person who is authorised—
 - (i) after the recovery order is made; and

- (ii) by a person who has parental responsibility for the child by virtue of a care order or an emergency protection order,
to exercise any power under a recovery order; and
“the designated officer” means the officer designated for the purposes of section 46.
- (8) Where a person is authorised as mentioned in subsection (7) (c) —
 - (a) the authorisation shall identify the recovery order; and
 - (b) any person claiming to be so authorised shall, if asked to do so, produce some duly authenticated document showing that he is so authorised.
- (9) A person shall be guilty of an offence if he intentionally obstructs an authorised person exercising the power under subsection (3) (b) to remove a child.
- (10) A person guilty of an offence under this section shall be liable on summary conviction to a fine not exceeding level 3 on the standard scale.
- (11) No person shall be excused from complying with any request made under subsection (3) (c) on the ground that complying with it might incriminate him or his spouse of an offence; but a statement or admission made in complying shall not be admissible in evidence against either of them in proceedings for an offence other than perjury.
- (12) Where a child is made the subject of a recovery order whilst being looked after by a local authority, any reasonable expenses incurred by an authorised person in giving effect to the order shall be recoverable from the authority.
- (13) A recovery order shall have effect in Scotland as if it had been made by the Court of Session and as if that court had had jurisdiction to make it.
- (14) In this section “the court” , in relation to Northern Ireland, means a magistrates' court within the meaning of the [S.I. 1981/1675 (N.I. 26)] Magistrates' Courts (Northern Ireland) Order 1981.

51 Refuges for children at risk

- (1) Where it is proposed to use a voluntary home or registered children's home to provide a refuge for children who appear to be at risk of harm, the Secretary of State may issue a certificate under this section with respect to that home.
- (2) Where a local authority or voluntary organisation arrange for a foster parent to provide such a refuge, the Secretary of State may issue a certificate under this section with respect to that foster parent.
- (3) In subsection (2) “foster parent” means a person who is, or who from time to time is, a local authority foster parent or a foster parent with whom children are placed by a voluntary organisation.
- (4) The Secretary of State may by regulations —
 - (a) make provision as to the manner in which certificates may be issued;
 - (b) impose requirements which must be complied with while any certificate is in force; and
 - (c) provide for the withdrawal of certificates in prescribed circumstances.
- (5) Where a certificate is in force with respect to a home, none of the provisions mentioned in subsection (7) shall apply in relation to any person providing a refuge for any child in that home.
- (6) Where a certificate is in force with respect to a foster parent, none of those provisions shall apply in relation to the provision by him of a refuge for any child in accordance with arrangements made by the local authority or voluntary organisation.
- (7) The provisions are —
 - (a) section 49;
 - (b) section 71 of the [1968 c. 49.] Social Work (Scotland) Act 1968 (harbouring children who have absconded from residential establishments etc.) , so far as it applies in relation to anything done in England and Wales;
 - (c) section 32 (3) of the [1969 c. 54.] Children and Young Persons Act 1969 (compelling, persuading,

inciting or assisting any person to be absent from detention, etc.) , so far as it applies in relation to anything done in England and Wales;

- (d) section 2 of the [1984 c. 37.] Child Abduction Act 1984.

52 Rules and regulations

- (1) Without prejudice to section 93 or any other power to make such rules, rules of court may be made with respect to the procedure to be followed in connection with proceedings under this Part.
- (2) The rules may, in particular make provision —
 - (a) as to the form in which any application is to be made or direction is to be given;
 - (b) prescribing the persons who are to be notified of—
 - (i) the making, or extension, of an emergency protection order; or
 - (ii) the making of an application under section 45 (4) or (8) or 46 (7) ; and
 - (c) as to the content of any such notification and the manner in which, and person by whom, it is to be given.
- (3) The Secretary of State may by regulations provide that, where —
 - (a) an emergency protection order has been made with respect to a child;
 - (b) the applicant for the order was not the local authority within whose area the child is ordinarily resident; and
 - (c) that local authority are of the opinion that it would be in the child's best interests for the applicant's responsibilities under the order to be transferred to them,that authority shall (subject to their having complied with any requirements imposed by the regulations) be treated, for the purposes of this Act, as though they and not the original applicant had applied for, and been granted, the order.
- (4) Regulations made under subsection (3) may, in particular, make provision as to—
 - (a) the considerations to which the local authority shall have regard in forming an opinion as mentioned in subsection (3) (c) ; and
 - (b) the time at which responsibility under any emergency protection order is to be treated as having been transferred to a local authority.

資料2 コモン・アセスメント・フレームワーク (CAF)

Every Child Matters
Change For Children

Common Assessment Framework for children and young people (CAF)

CAF form

Notes for use: If you are completing form electronically, text boxes will expand to fit your text
Where check boxes appear, insert an 'X' in those that apply.

Identifying details

Record details of unborn baby, infant, child or young person being assessed. If unborn, state name as 'unborn baby' and mother's name, e.g. unborn baby of Ann Smith.

Name	<input type="text"/>	AKA ¹ /previous names	<input type="text"/>	
Male	<input type="checkbox"/>	Female	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	Unknown	<input type="checkbox"/>	
Address	<input type="text"/>		Date of birth or EDD ²	<input type="text"/>
			Contact tel. no.	<input type="text"/>
			Unique ref. no.	<input type="text"/>
			Version no.	<input type="text"/>
Postcode	<input type="text"/>	Religion	<input type="text"/>	

Ethnicity

White British	<input type="checkbox"/>	Caribbean	<input type="checkbox"/>	Indian	<input type="checkbox"/>	White & Black Caribbean	<input type="checkbox"/>	Chinese	<input type="checkbox"/>
White Irish	<input type="checkbox"/>	African	<input type="checkbox"/>	Pakistani	<input type="checkbox"/>	White & Black African	<input type="checkbox"/>	Any other ethnic group*	<input type="checkbox"/>
Any other White background*	<input type="checkbox"/>	Any other Black background*	<input type="checkbox"/>	Bangladeshi	<input type="checkbox"/>	White & Asian	<input type="checkbox"/>	Not given	<input type="checkbox"/>
				Any other Asian background*	<input type="checkbox"/>	Any other mixed background*	<input type="checkbox"/>		

*If other, please specify Immigration status

Child's first language Parent's first language

Does the child have a disability? Yes No

If 'yes' give details

Is an interpreter or signer required? Yes No Has this been arranged? Yes No

Details of any special requirements (for child and/or their parent)

¹ 'Also known as'

² Expected date of delivery

Assessment information

People present at assessment

What has led to this unborn baby, infant, child or young person being assessed?

Details of parents/carers

Name | | Contact tel. no. | |

Relationship to unborn baby, infant, child or young person | |

Address | |

Parental responsibility?
Yes No

Name | | Contact tel. no. | |

Relationship to unborn baby, infant, child or young person | |

Address | |

Parental responsibility?
Yes No

Current family and home situation

(e.g. family structure including siblings, other significant adults etc; who lives with the child and who does not live with the child)

Details of person(s) undertaking assessment

Name Contact tel. no.

Address Role
 Organisation

Name of lead professional (where applicable)

Lead professional's contact number

Services working with this infant, child or young person

Universal	GP	<input type="checkbox"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>
	Early years or education/training provision	<input type="checkbox"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>
Other services	Service	<input type="text"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>
	Service	<input type="text"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>
	Service	<input type="text"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>
	Service	<input type="text"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>
	Service	<input type="text"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>
	Service	<input type="text"/>	Details	<input type="text"/>	Tel.	<input type="text"/>

CAF assessment summary: strengths and needs

Consider each of the elements to the extent they are appropriate in the circumstances. You do not need to comment on every element. Wherever possible, base comments on evidence, not just opinion, and indicate what your evidence is. However, if there are any major differences of view, these should be recorded too.

1. Development of unborn baby, infant, child or young person

Health

General health

Conditions and impairments; access to and use of dentist, GP, optician; immunisations, developmental checks, hospital admissions, accidents, health advice and information

Physical development

Nourishment; activity; relaxation; vision and hearing; fine motor skills (drawing etc.); gross motor skills (mobility, playing games and sport etc.)

Speech, language and communication

Preferred communication, language, conversation, expression, questioning; games; stories and songs; listening; responding; understanding

Emotional and social development

Feeling special; early attachments; risking/actual self-harm; phobias; psychological difficulties; coping with stress; motivation, positive attitudes; confidence; relationships with peers; feeling isolated and solitary; fears; often unhappy

Behavioural development

Lifestyle, self-control, reckless or impulsive activity; behaviour with peers; substance misuse; anti-social behaviour; sexual behaviour; offending; violence and aggression; restless and overactive; easily distracted, attention span/concentration

1. Development of unborn baby, infant, child or young person (continued)

Identity, self-esteem, self-image and social presentation

Perceptions of self; knowledge of personal/family history; sense of belonging; experiences of discrimination due to race, religion, age, gender, sexuality and disability

--

Family and social relationships

Building stable relationships with family, peers and wider community; helping others; friendships; levels of association for negative relationships

--

Self-care skills and independence

Becoming independent; boundaries, rules, asking for help, decision-making; changes to body; washing, dressing, feeding; positive separation from family

--

Learning

Understanding, reasoning and problem solving

Organising, making connections; being creative, exploring, experimenting; imaginative play and interaction

--

Participation in learning, education and employment

Access and engagement; attendance, participation; adult support; access to appropriate resources

--

Progress and achievement in learning

Progress in basic and key skills; available opportunities; support with disruption to education; level of adult interest

--

Aspirations

Ambition; pupil's confidence and view of progress; motivation, perseverance

--

2. Parents and carers

Basic care, ensuring safety and protection

Provision of food, drink, warmth, shelter, appropriate clothing; personal, dental hygiene; engagement with services; safe and healthy environment

Emotional warmth and stability

Stable, affectionate, stimulating family environment; praise and encouragement; secure attachments; frequency of house, school, employment moves

Guidance, boundaries and stimulation

Encouraging self-control; modelling positive behaviour; effective and appropriate discipline; avoiding over-protection; support for positive activities

3. Family and environmental

Family history, functioning and well-being

Illness, bereavement, violence, parental substance misuse, criminality, anti-social behaviour; culture, size and composition of household; absent parents, relationship breakdown; physical disability and mental health; abusive behaviour

Wider family

Formal and informal support networks from extended family and others; wider caring and employment roles and responsibilities

Housing, employment and financial considerations

Water/heating/sanitation facilities, sleeping arrangements; reason for homelessness; work and shifts; employment; income/benefits; effects of hardship

Social and community elements and resources, including education

Day care; places of worship; transport; shops; leisure facilities; crime, unemployment, anti-social behaviour in area; peer groups, social networks and relationships

Conclusions, solutions and actions

Now the assessment is completed you need to record conclusions, solutions and actions. Work with the baby, child or young person and/or parent or carer, and take account of their ideas, solutions and goals.

What are your conclusions? (For example strengths, no additional needs, additional needs, complex needs, risk of harm to self or others)

What needs to change? (For example what outcomes, solutions and goals do the child/young person, parent/carer and you want to achieve)

Action plan (in order of priority)

Who will do this?

By when?

Agreed review date

How will you know when things have improved?

Child or young person's comment on the assessment and actions identified

Parent or carer's comment on the assessment and actions identified

Consent for information storage and information sharing

I understand the information that is recorded on this form and that it will be stored and used for the purpose of providing services to:

- Me
- This infant, child or young person for whom I am a parent
- This infant, child or young person for whom I am a carer

I have had the reasons for information sharing explained to me and I understand those reasons

I agree to the sharing of information, as agreed, between the services listed below Yes No

(Practitioner to detail what information may be seen by which agencies)

Signed Name Date

Assessor's signature

Signed Name Date

Exceptional circumstances: significant harm to infant, child or young person

If at any time during the course of this assessment you feel that an infant, child or young person has been harmed or abused or is at risk of harm or abuse, you must follow your local safeguarding children board (LSCB) procedures as set out in the booklet

What To Do If You Are Worried A Child Is Being Abused (Department of Health, 2003).

© Crown copyright 2006

Produced by the Department for Education and Skills

www.ecm.gov.uk/caf

ソーシャルケアワーカーのための行動規範 及び ソーシャルケアワーカーの雇用主のための行動規範

2002年9月

ソーシャルケアワーカーの雇用主

はじめに

本文書には、ソーシャルケアワーカーとその雇用主が職務に就くにあたり遵守すべき実践・行動基準を記したソーシャルケアワーカーのための行動規範とソーシャルケアワーカーの雇用主のための行動規範が収められています。ソーシャルケアワーカーのための行動規範でも繰り返されますが、ここでは、規範の目的と、規範がソーシャルケアワーカー、雇用主、サービス利用者、社会一般人に意味するところの理解を助けることを意図しています。

2001年10月1日、General Social Care CouncilはNorthern Ireland Social Care Council、Scottish Social Services Council、Care Council for Walesと同時に作業に着手しました。カウンシルには行動規範を作成する義務があり、ソーシャルケアサービスの基準を高める作業の一環として、協同でこれらの規範の作成にあたりました。

本文書にはワーカーと雇用主のための両行動規範が併記されていますが、これは、両規範は補完的なものであり、ソーシャルケアサービスにおける高い基準を保証する際の雇用主とワーカーの共同責任を映し出すものであるためです。

規範とは何か？

ソーシャルケアワーカーの雇用主のための行動規範とは、ソーシャルケアワーカーを規制管理するに際しての雇用主の責任を規定するものです。こうした基準が全国レベルで定められたのは今回が初めてです。規範は、雇用主が適用規範に定められた基準を遵守し、ソーシャルケアワーカーが適用規範の基準を満たすようにワーカーをサポートし、ワーカーが期待される実践基準に満たない場合には適切な措置をとることを求めています。

ソーシャルケアワーカーのための行動規範は、ソーシャルケアワーカーが日常の職務に就く際に求められる職業上の実践・行動基準を列挙して述べたものです。多くの雇用主は同様の規範を地域レベルで実施しているとはいえ、こうした方法で全国レベルの基準が定められたのは、これも今回が初めてです。目的は、ソーシャルケアに求められる基準を確立させ、雇用主、同僚、サービス利用者、ケアラー、社会一般人がワーカーに期待する実践基準とは何かをソーシャルケアワーカーが確実に把握できるようにすることです。

規範は既に実施されている実践基準を反映させることをめざし、ワーカーと雇用主が規範の中に、既に目標としている共有の基準を認識することを予期しています。カウンシルは規範を広く紹介していくことにより、これらの基準の推進を図っていきます。

規範はどのように活用されていくのか？

規範は、英国内のイングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドにソーシャルケア規制制度を導入する重要なステップです。カウンシルは、ソーシャルケアに従事する者の登録責任を負います。登録簿は、登録者が登録簿に登録されるための必要条件を満たし、ソーシャルケアワーカーのための行動規範に述べられた基準の遵守を承諾したという公の記録となります。

カウンシルは、違反行為問題や登録ワーカーを登録簿に留めるべきか否かの決定を熟考する際に、ソーシャルケアワ

ーカーのための行動規範に述べられた基準を考慮に入れることとなります。

規範があなたに意味するものは？

ソーシャルケアワーカーとして、あなたは自分の行動の指針となる基準を持ち、どのような実践基準を満たすことがあなたに期待されているのかを明確に把握することとなります。自分の行動を考察し、改善できる領域を見つけられるように、行動規範を活用していくことが奨励されます。

ソーシャルケアの雇用主として、あなたは、従業員の規制管理とクオリティの高いソーシャルケアのサポートにおいて果たすべくあなたに期待されるものは何かを理解することとなります。規範に述べられた基準に照らし合わせて、自分の行動基準と方針を再考することが奨励されます。

サービス利用者または社会一般人として、行動規範は、ソーシャルケアワーカーがあなたに対してとるべき態度、ソーシャルケアワーカーが適切に職務を遂行できるように雇用主が提供すべきサポートを理解する助けとなります。

ソーシャルケアワーカーの雇用主のための行動規範

本規範の目的は、ソーシャルケアワーカーを規制管理するに際しての雇用主の責任を規定することです。従業員の規制管理を行う目的は、サービス利用者とケアラーの利益を保護し、その促進を図ることです。規範は、既に実施されている雇用主の方針に取って代わったりそれを繰り返すものではなく、それを補完することを意図し、スタッフの雇用に関連する法律、必要条件、指針のより幅の広いパッケージの一部となります。雇用主は、本規範に述べられた基準を満たし、クオリティの高いサービスを提供し、ソーシャルケアサービスにおける社会一般の信頼と信任を促進することを確認する責任があります。

身分

National Care Standards Commission及びSocial Services Inspectorateは、ケア基準の施行にあたり本規範を考慮に入れることとなります。

ソーシャルケア従事者の規制管理に関連する責任を果たすために、ソーシャルケア雇用主には以下を実施する義務があります。

- 人員がソーシャルケアに従事するのに適切であり、その役割と責任を理解していることを確認する。
- ソーシャルケアワーカーがGeneral Social Care Council (GSCC) のソーシャルケアワーカーのための行動規範を満たすことができるように、方針と手順を書面で備える。
- ソーシャルケアワーカーが技能と知識を強化して能力開発を行えるように、トレーニングと能力開発の機会を提供する。
- 危険、差別的、搾取的な態度や行動に対処するために方針と手順を書面で作成し、これを実行する。
- ソーシャルケアワーカー、サービス利用者、ケアラーにGSCCの行動規範の推進を図り、GSCCの処置に協力する。

1 ソーシャルケア雇用主として、あなたは、人員がソーシャルケアに従事するのに適切であり、その役割と責任を理解していることを確認する義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 1.1 適切な知識と技能を有し、ソーシャルケアに携わるのに適した人員だけが従業員として雇用されることを確実にする点に焦点を合わせた厳格で徹底した人材募集と人選プロセスを活用する。
- 1.2 犯罪記録、関連する記録簿や人物リストを調査し、採用を確認する前に、人員が採用職務を遂行する能力があるかどうかを査定する。
- 1.3 信頼できる身元保証人を求め、身元保証を提供する。
- 1.4 スタッフに、その役割と責任、関連する法律、職場で従うべき組織の方針と手順に関する明確な情報を伝える。

1.5 クオリティの高いサービスとケアを保証するために、スタッフと組織のパフォーマンスを管理する。

2 ソーシャルケア雇用主として、あなたは、ソーシャルケアワーカーがGSCCのソーシャルケアワーカーのための行動規範を満たすことができるように、方針と手順を書面で備える義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 2.1 秘密保守、機会均等、リスク評価、(薬物・アルコールなどの)物質濫用、記録保管、サービス利用者やケアラーからの金品の受理に関して書面で作成された方針を実行し、監視する。
- 2.2 効果的な行動と模範的な実践をサポートするためにスタッフを効果的に管理監督し、パフォーマンスで欠けている点に取り組むためにスタッフをサポートする。
- 2.3 安全なケアの提供の妨げとなるかもしれない不十分なリソースや運営上の問題をソーシャルケアワーカーが報告できるように制度を実施し、こうした問題に取り組むためにワーカーや関連当局と協力する。
- 2.4 GSCCのソーシャルケアワーカーのための行動規範を満たすためにソーシャルケアワーカーをサポートし、ワーカーの同規範への遵守を危険にさらすような行為を要求しない。

3 ソーシャルケア雇用主として、あなたは、ソーシャルケアワーカーが技能と知識を強化して能力開発を行えるように、トレーニングと能力開発の機会を提供する義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 3.1 ソーシャルケアワーカーが効果的に仕事を行い、変化する新しい役割と責任に備えるのに役立つように、研修、トレーニング、能力開発の機会を提供する。
- 3.2 効果的な職場評価と実践学習を含めて、ソーシャルケアとソーシャルワークの教育ならびにトレーニングの提供に貢献する。
- 3.3 GSCCの登録適性基準と専門性を継続発展させていくための必要条件を満たすように、登録を条件とするポストのスタッフをサポートする。
- 3.4 何らかの職務を遂行できないか遂行のための準備が不十分と感じるために援助を求めるソーシャルケアワーカーに適切に対応する。

4 ソーシャルケア雇用主として、あなたは、危険、差別的、搾取的な態度や行動に対処するために方針と手順を書面で作成し、これを実行する義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 4.1 いじめ、ハラスメント、弁解できない如何なる形態の差別も容認できるものではないことをソーシャルケアワーカーに明確にし、かかる行為に対処する措置をとる。
- 4.2 危険、差別的、虐待的、搾取的な態度や行動を報告するためのソーシャルケアワーカー向けの手順を確立してこれを推進し、こうした報告には素早く効果的に公然と対処する。
- 4.3 スタッフに対する暴力、おどし、虐待は容認できるものではないことをソーシャルケアワーカー、サービス利用者、ケアラーに明確にし、暴力の危険を最小限に留めるための明確な方針と手順を備え、暴力事件を管理する。
- 4.4 職場でトラウマや暴力を体験しているソーシャルケアワーカーをサポートする。
- 4.5 スタッフの福祉とワーカーの機会均等を促進する方針と手順を書面で作成し、これを実行する。
- 4.6 ケアとサービス利用者の安全を再優先しながら、不健康や薬物・アルコール依存症で仕事に影響が及んでいるソーシャルケアワーカーに対して適切な支援を提供し、かかるワーカーの治療中の仕事に加える何らかの制限に関して明確な指針を与える。

5 ソーシャルケア雇用主として、あなたは、ソーシャルケアワーカー、サービス利用者、ケアラーにGSCCの行動規範の推進を図り、GSCCの処置に協力する義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 5.1 本規範と雇用主の規範遵守義務についてソーシャルケアワーカーに通告する。
- 5.2 GSCCのソーシャルケアワーカーのための行動規範と同規範に準拠するためのワーカーの個人的な責任についてソーシャルケアワーカーに通告する。
- 5.3 本規範とソーシャルケアワーカーのための行動規範をサービス利用者とケアラーに認識させ、雇用主の方針を通じて問題を提起する方法と、必要であれば規範に関してGSCCに連絡する方法について彼等に通告する。
- 5.4 ワーカーの行動に関連する何らかの決定を行う際に、GSCCのソーシャルケアワーカーのための行動規範を考慮に入れる。
- 5.5 登録に疑問を投げかけるかもしれない登録ソーシャルケアワーカーの違反行為につきGSCCに通告し、GSCCに報告を行ったことを当該ワーカーに通告する。
- 5.6 GSCCの調査と審問に協力し、GSCCの調査結果と決定に適切に対応する。

ソーシャルケアワーカー

はじめに

本文書には、ソーシャルケアワーカーとその雇用主が職務に就くにあたり遵守すべき実践・行動基準を記したソーシャルケアワーカーのための行動規範とソーシャルケアワーカーの雇用主のための行動規範が収められています。ソーシャルケアワーカーの雇用主のための行動規範でも繰り返されますが、ここでは、規範の目的と、規範がソーシャルケアワーカー、雇用主、サービス利用者、社会一般人に意味するところの理解を助けることを意図しています。

2001年10月1日、General Social Care CouncilはNorthern Ireland Social Care Council、Scottish Social Services Council、Care Council for Walesと同時に作業に着手しました。カウンシルには行動規範を作成する義務があり、ソーシャルケアサービスの基準を高める作業の一環として、協同でこれらの規範の作成にあたりました。

本文書にはワーカーと雇用主のための両行動規範が併記されていますが、これは、両規範は補完的なものであり、ソーシャルケアサービスにおける高い基準を保証する際の雇用主とワーカーの共同責任を映し出すものであるためです。

規範とは何か？

ソーシャルケアワーカーのための行動規範は、ソーシャルケアワーカーが日常の職務に就く際に求められる職業上の実践・行動基準を列挙して述べたものです。多くの雇用主は同様の規範を地域レベルで実施しているとはいえ、こうした方法で全国レベルの基準が定められたのは今回が初めてです。目的は、ソーシャルケアに求められる基準を確立させ、雇用主、同僚、サービス利用者、ケアラー、社会一般人がワーカーに期待する実践基準とは何かをソーシャルケアワーカーが確実に把握できるようにすることです。

ソーシャルケアワーカーの雇用主のための行動規範とは、ソーシャルケアワーカーを規制管理するに際しての雇用主の責任を規定するものです。こうした基準が全国レベルで定められたのは、これも今回が初めてです。規範は、雇用主が適用規範に定められた基準を遵守し、ソーシャルケアワーカーが適用規範の基準を満たすようにワーカーをサポートし、ワーカーが期待される実践基準に満たない場合には適切な措置をとることを求めています。

規範は既に実施されている実践基準を反映させることをめざし、ワーカーと雇用主が規範の中に、既に目標としている共有の基準を認識することを期しています。カウンシルは規範を広く紹介していくことにより、これらの基準の推進を図っていきます。

規範はどのように活用されていくのか？

規範は、英国内のイングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドにソーシャルケア規制制度を導入す

る重要なステップです。カウンシルは、ソーシャルケアに従事する者の登録責任を負います。登録簿は、登録者が登録簿に登録されるための必要条件を満たし、ソーシャルケアワーカーのための行動規範に述べられた基準の遵守を応諾したという公の記録となります。

カウンシルは、違反行為問題や登録ワーカーを登録簿に留めるべきか否かの決定を熟考する際に、ソーシャルケアワーカーのための行動規範に述べられた基準を考慮に入れることになります。

規範があなたに意味するものは？

ソーシャルケアワーカーとして、あなたは自分の行動の指針となる基準を持ち、どのような実践基準を満たすことがあなたに期待されているのかを明確に把握することになります。自分の行動を考察し、改善できる領域を見つけられるように、行動規範を活用していくことが奨励されます。

ソーシャルケアの雇用主として、あなたは、従業員の規制管理とクオリティの高いソーシャルケアのサポートにおいて果たすべくあなたに期待されるものは何かを理解することになります。規範に述べられた基準に照らし合わせて、自分の行動基準と方針を再考することが奨励されます。

サービス利用者または社会一般人として、行動規範は、ソーシャルケアワーカーがあなたに対してとるべき態度、ソーシャルケアワーカーが適切に職務を遂行できるように雇用主が提供すべきサポートを理解する助けとなります。

ソーシャルケアワーカーのための行動規範

本規範の目的は、ソーシャルケアワーカーに期待される行動について述べ、ソーシャルケアワーカーに期待できる実践基準についてサービス利用者と社会一般人に通告することです。規範は、ソーシャルケアワーカーが従うべき法律、行動基準、雇用主による方針と手順のより幅の広いパッケージの一部となります。ソーシャルケアワーカーは、自分の行動が本規範に述べられた基準を下回ることなく、自分の如何なる作為や不作為もサービス利用者の福祉を損なうことがないことを確認する責任があります。

身分

General Social Care Councilはソーシャルケアワーカーに本規範への準拠を期待し、登録ワーカーがこれに準拠しない場合は措置を講ずることがあります。

ソーシャルケアワーカーの雇用主は、スタッフの行動に関する何らかの決定を行う際に本規範を考慮に入れることを求められます。

ソーシャルケアワーカーの実施義務：

- サービス利用者とケアラーの権利を保護し、その利益の促進を図る。
- サービス利用者とケアラーの信頼と信任の確立と維持に努める。
- サービス利用者をでき得る限り危害から守りながら、その自立を促す。
- サービス利用者の態度が本人または他人に害を及ぼさないことの確認に努めながら、その権利を尊重する。
- ソーシャルケアサービスにおける社会一般の信頼と信任を擁護する。
- 仕事のクオリティに対する報告責任と、知識と技能の維持向上責任を負う。

1 ソーシャルケアワーカーとして、あなたは、サービス利用者とケアラーの権利を保護し、その利益の促進を図る義務があります。

これには以下のことが含まれます。

1.1 各人を個人として扱う。

- 1.2 サービス利用者とケアラー両者の個人的な考えや希望を尊重し、該当する場合にはその促進を図る。
- 1.3 サービス利用者が生活を管理し、彼等が受けるサービスについて選択肢を伝えられるように、その権利をサポートする。
- 1.4 サービス利用者の尊厳とプライバシーを尊重し、これを維持する。
- 1.5 サービス利用者とケアラーの機会均等の促進を図る。
- 1.6 多様性、異なる文化と価値観を尊重する。

2 ソーシャルケアワーカーとして、あなたは、サービス利用者とケアラーの信頼と信任の確立と維持に努める義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 2.1 誠実で信頼に値する存在となる。
- 2.2 適切、オープン、正確、率直な方法でコミュニケーションを図る。
- 2.3 秘密情報を尊重し、秘密保守に関するエージェンシーの方針をサービス利用者とケアラーに明確に説明する。
- 2.4 信頼でき、頼れる存在となる。
- 2.5 仕事のコミットメント、契約、協定を履行し、それが不可能な場合には、その理由をサービス利用者とケアラーに説明する。
- 2.6 利益の衝突を生じさせるかもしれない問題を言明し、自分の判断や行動がその影響を受けることのないことを確認する。
- 2.7 サービス利用者やケアラーからの金品受理に関する方針と手順を厳守する。

3 ソーシャルケアワーカーとして、あなたは、サービス利用者をでき得る限り危害から守りながら、その自立を促す義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 3.1 サービス利用者の自立を促し、彼等が自分の権利を理解してそれを行使するのを補助する。
- 3.2 危険、虐待的、差別的、搾取的な態度や行動を吟味してこれを報告するために、既に実施されているプロセスと手順を活用する。
- 3.3 職場における暴力や虐待的な行為から自身と他者を安全に守るための慣行と手順に従う。
- 3.4 安全なケアの提供の妨げとなるかもしれないリソースや運営上の問題について、雇用主または該当局の注意を喚起する。
- 3.5 同僚の行動が安全でなかったり、ケアの水準に悪影響を及ぼすかもしれない場合には、雇用主または該当局に通告する。
- 3.6 物質濫用に関するものも含めて、雇用主の健康安全方針を遵守する。
- 3.7 サービス利用者とケアラーが苦情を申し立てるのを助け、苦情を真剣に受け止めて、それに対応するか、それを該当者に伝える。
- 3.8 サービス利用者とケアラーと働くことから生じる権限を責任ある態度で認識してこれを行使する。

4 ソーシャルケアワーカーとして、あなたは、サービス利用者の態度が本人または他人に害を及ぼさないことの確認に努めながら、その権利を尊重する義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 4.1 サービス利用者には危険を冒す権利があることを認識し、本人または他人に対する実際の危険性とその可能性を彼等が明確にし、それを管理するのを助ける。
- 4.2 サービス利用者の態度が本人または他人に害を及ぼす危険があるかどうかを査定するために、リスク評価の方針と手順に従う。
- 4.3 サービス利用者が本人または他人に害を及ぼす実際の危険性とその可能性のリスクを最小限に留めるために必要

な処置を講ずる。

4.4 リスク評価の結果とその含意について、関係する同僚とエージェンシーへの通告が行われたことを確認する。

5 ソーシャルケアワーカーとして、あなたは、ソーシャルケアサービスにおける社会一般の信頼と信任を擁護する義務があります。

特に以下の行為は禁止されています。

- 5.1 サービス利用者、ケアラー、同僚を虐待、軽視し、あるいは彼等に危害を加えること。
- 5.2 如何なる方法によっても、サービス利用者、ケアラー、同僚から搾取すること。
- 5.3 サービス利用者とケアラーの信頼、あるいは彼等に関する個人情報、その資産、家庭、職場にアクセスできる自分の立場を悪用すること。
- 5.4 サービス利用者と不適切な個人的関係を築くこと。
- 5.5 サービス利用者、ケアラー、同僚を不法または弁解の余地なく差別すること。
- 5.6 サービス利用者、ケアラー、同僚による不法または弁解の余地のない差別を容赦すること。
- 5.7 自己または他人を不必要な危険にさらすこと。
- 5.8 職場の内外を問わず、ソーシャルケアサービス従事者としての適性に疑問を投げかけられるような行動をとること。

6 ソーシャルケアワーカーとして、あなたは、仕事のクオリティに対する報告責任と、知識と技能の維持向上責任を負う義務があります。

これには以下のことが含まれます。

- 6.1 関連する行動基準を満たし、合法的、安全、効果的な方法で職務にあたる。
- 6.2 職務に定められた手順が求める通りに、明確で正確な記録を維持する。
- 6.3 自分の職務を完全かつ安全に遂行する能力に影響を及ぼすかもしれない個人的な問題について、雇用主または該当局に通告する。
- 6.4 何らかの職務を遂行できないか遂行のための準備が不十分と感じたり、仕事の進め方に自信がない場合には、雇用主または該当局に援助を求める。
- 6.5 同僚とオープンかつ協力的に働き、敬意をもって彼等に接する。
- 6.6 他のワーカーに委任した職務に関しても自分が責任を負うことを認識する。
- 6.7 他のエージェンシーから派遣されたワーカーの役割と専門知識を認めてこれを尊重し、彼等と協力して働く。
- 6.8 知識と技能を維持向上させるために関連するトレーニングを受け、他者の学習と能力開発に貢献する。

General Social Care Council
Goldings House
2 Hay's Lane
London
SE1 2HB

020 7397 5100
www.gsc.org.uk

(C) Copyright General Social Care Council 2002

性的虐待とは

若者の心のパンフレット

2ページ

もしあなたが性的虐待を受けた子どもを知っていたり、あるいはそれがあなた自身である場合、このパンフレットはあなたを手助けするものになるでしょう。ここに書いてあることは

- ◆性的虐待とは (3-4 ページ)
- ◆誰が性的虐待をするのでしょうか (4 ページ)
- ◆性的虐待を受けたときどのような感情をいただくのでしょうか (5-7 ページ)
- ◆虐待がもたらす行動への影響は (8-10 ページ)
- ◆性的虐待を他の誰かに伝えるには (11-14 ページ)
- ◆あなたが感じたことを整理するには (15-16 ページ)
- ◆セラピーはどのように役立つのでしょうか (17 ページ)
- ◆だれが援助をするのでしょうか (18-19 ページ)

3ページ

性的虐待とは

- ◆あるタイプのキスをされる。
- ◆体のプライベート部分を触られる
- ◆レイプ(あなたが望んでいないのに強引にセックスをされる)
- ◆ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる。
- ◆子どもや若者が虐待と感じるその他の行為

子どもや若者がお互いの体を見たいと思ったり、お互いにお付き合いしたいと思うのは、正常な発達であって、ここでのような問題のあるものではありません。

4ページ

性的虐待の加害者は、普通の場合、子どもや若者たちに比べ、強かったり、権威的立場にいるものです。加害者は、この優位な力を使って、子どもや若者たちを性的行為に誘おうとします。

法律は子どもと若者たちの安全と権利を守ろうとしています。誰かが性的な虐待を行うことは、法律を犯していることになります。

誰が子どもたちを虐待するのでしょうか

虐待する大人は、普通、見知らぬ人ではありません。多くの場合、親戚、家族の友人、近隣の人、間借りをしている人、ベビーシッター、学校や所属しているグループの誰か、などです。時には兄弟姉妹、友人の兄弟姉妹など若者の場合もあります。同じ人がひそかに2人以上の子どもを虐待していることが少なくありません。性的虐待の加害者は男性が普通ですが女性の場合もあります。

5ページ

性的虐待を受けたとき どのような感情をいだくのでしょうか。

虐待を受けたとき、ここにあげたような、なかなか解決することが難しい様々な感情が引き起こされます。

汚れた気持ち	恥ずかしさ	抑うつ	自分を価値のない人間と思う
混乱した気持ち	恐れ	他人を虐待してしまう心配	一人ぼっち
混乱	自殺したい気持ち	怒り	とまどい
	自分の性についての心配	不安	逃げ出したい気持ち
ボーイフレンドやガールフレンドを持つことへのおびえ		罪悪感	寂しさ

6ページ

「私がそんなことしないでって言ったとき、『何ばかなこと言ってるの、これはゲームだよ。ゲームが好きじゃないってこと?』とその人は言いました。私は本当に混乱しました。その人は時々『君が好きだからしているんだよ。これは二人の特別の秘密だよ。いいね』と言いました。私は嫌だと感じるのは私だけと思いました。いけない気持ちを抱いているのだと思いました。たぶんこのお父さんも皆このようなことをして、嫌だと感じるのは、私が変だからと思いました」

虐待を行う大人は、いろんな意味で良い人に見えることがあります。そのせいで、それが性的虐待だと受け止めににくくなります。

「今考えると本当におかしいのですが、私はずっと、虐待をする人はいつでもひどい人だと思っていました。宿題を見てくれたり、新しい洋服を買ってくれるような良い人であるとは思っていませんでした。だから事態を理解するにはしばらく時間がかかりました」。

7ページ

一部の虐待者は、自分の行為が悪いことではないと確信している場合があります。彼らは、子どもたちが望んだのだと主張するかもしれません。虐待を受けている人々が、嫌だと言ってよいのかどうか、誰かに言ってよいのかどうかなどと迷うのはそのためです。多くの虐待者は、子どもたちの年齢、未熟さ、恐怖といったものを利用して、虐待を行おうとします。

「父が死んだあとすべてが始まりました。母が本当に落ち込んでいたので、私は感情を心の中にしまひこみました。母は生活費のために、長時間働く必要がありました。夕方は母方の伯父さんが世話をしてくれました。そのときから、それが始まりました。彼は、「もしお母さんに言ったら、それまでたくさん苦しんできたお母さんは壊れてしまうだろうね。」と言いました」。

大人は子どもと青年を養育し、保護する責任があります。子どもが大人を守る責任はありません。

8ページ

虐待がもたらす行動への影響は

性的虐待は、他の問題も引き起こす可能性があります。

清潔にしたり身の周りのことができなくなる	夜尿	不眠
悪夢をみる	家出	記憶がとぶ
友達を作れない	落ち着かない	摂食障害
自分自身を傷つける	集中困難	アルコールや薬物の使用

9ページ

「誰かに話す前は、夜眠ることが恐怖でした。起こったことを考えないようにしても、悪夢を見ました。あまりに疲れて学校のことも考えなくなり、さまよい歩きました。私はエイリアンのようで、こんな自分は世界で私一人だと感じて、誰にも伝えることができませんでした。

私は何もなくなって周囲を困らせました。しまいには誰かにイスを投げつけました。同じことをしたら、出て行くように言われました。母親はうまく対処できませんでした。そして私は代わりに自分の体を切りつけ始めました」。

辛い気持ちに対処するときに「すっかり忘れてしまおう」とすることがよくあります。しかしそれがいつでも効果があるわけではありません。

10ページ

「どうしたらよいのか分かりませんでした。なぜならいつも家に帰ってそれを目の前にしなくてはいけなかったからです。私は、それを考えないようにできないものか、心の外のどこかに押し込められないだろうか、本当に起こったことでなければいいのに、などと考えました。馬鹿げたちっぽけなことがきっかけで思い出し、最悪な気持ちになりました。友人は離れ、トラブルを抱えた人たちと徘徊し始めました。出席点呼がすんだら学校を出て、万引きをし、お酒を飲んで度胸試しをしました。なぜそんなことしたかって？ 危険なことをしたら、しばらくの間は家のことを考えずにすむからです。」

家出をすることが唯一の解決方法とを感じる人もいます。もしそうなったら、彼女らを利用しようとする人たちからの危険にさらされます。そして犯罪や売春に関与しやすくなります。

もしあなたがそのように感じていたら、援助を受けることです。そのことがとても重要です

11ページ

性的虐待を誰かに伝えるには

援助を受けることが重要な理由は3つあります

- ・虐待を止めること
- ・起きたことを克服するためのスタートを切る
- ・他の子どもたちや若者を守る

「私は2年間起き続けたことを誰にも言いませんでした。ただ、ヒントを与えるようなやり方で、ちょっとだけ試したこともあります。学校で『もし私の知り合いの子が虐待を受けていて、あなたに言ったらどうなると思う』などと言ってみました。皆それは児童相談所へ伝えるべきだと言いました。『そんなのとんでもない一家族が崩壊してほしくないし、私のせいになってしまう』と思いました。とうとう、言葉にしたのですが、それは、あの人が私からいここに乗り換えたって思ったからでした。

12ページ

虐待を他人に伝えることは、大変難しく怖いことと感じるでしょう。もし話したら何が起きるだろうと心配するかもしれません。あるいは、信じてもらえるだろうかと思うかもしれません（もし信じてもらえなくても、諦めずに他の誰かに伝えてください）。

時に、あなたが一番言いたいことを書き留めておけば、それが手助けになることがあります。知っている人に伝えることが難しいと感じているのなら、ヘルプラインに電話することもできます。あなたが心配していることについて、大変役に立つアドバイスをもらえるでしょう（詳細は18-19ページに）。

言いたくなければ、あなたの名前を言う必要はありません。少しでも、たくさんでもあなたが話したいだけ話すことができます。

13ページ

誰が助けてくれるかを考えることは、あなたを救う第1歩になるかもしれません。

ユースワーカー	医師	警察官	保健の先生	
先生	友人	親せき	カウンセラー	ソーシャルワーカー

「チャイルドラインに電話したとき、言葉が出るまで時間が少しかかりました。でも彼らは電話を切りませんでした。とにかく、本当によかったのは、私の顔を見られなくて済むことでした。道で会っても私のことは分からないんです。彼らは本当に辛抱強く、私が望んでいることを言えるよう、そして次にすべきことを決められるよう手助けしてくれました。ソーシャルサービスと警察が関与してくれた時も、一人ぼっちにならないようにずっと傍りに居続けてくれました。」

14ページ

あなたが話そうと決めた人は、虐待を止めるための手続きをするソーシャルワーカーに通告しようとするかもしれませんが、まずはあなたに話をしてからです。

もしあなたが虐待を受けたら、あるいは他の誰かが、あなたが虐待を受けていると思ったら、調査が必要となります。ソーシャルワーカーや医師、警察といった人たちが起きたことを調べ、あなたを保護し援助するためになすべきことを決定します。

過去に警察と関与したことがある人は、「虐待を受けた」ことで罰せられるかもしれないと心配する人もいるでしょう。しかしそれは問題になりません。警察と関わることで動揺するかもしれませんが、あなたを一貫して援助する人たちがいることを忘れないでください。

何が起ころうとも、たとえもし虐待者が裁判所に行くことになり有罪になったとしても、あなたの責任では全くありません。

15ページ

あなたが感じていることを整理するには

虐待について誰かに話したからといって、乱れた気持ちがどこかへ消えてなくなるとは限りません。言わなかった方がよかったと思うときもあるかもしれません。

「それは全部ウソでしたといって、すべてを元に戻したいと思ったことは何度もありました。自分でも信じたくありませんでした。家族が普通になることだけを望んでいたのです。何も起こっていないと装うほうが楽だと思いました」

虐待を受けていたときにどのように感じるのかや、どのように援助を受けるべきかをよく知っている訓練された人たちに話すことは大変有用な場合があります。こうした人たちは、心理セラピストや心理学者、精神分析家、カウンセラーです。これはあなたが精神病であるということを意味するものではありません。

16ページ

自分に起こった出来事を一人で話したいと思うかもしれないし、似たような経験をした仲間とグループで話したいと思うかもしれません。時には家族と一緒に専門家に話すことが役に立つと感じるでしょう。どのようなセラピーか適しているかは、必要に応じ、また希望によって異なります。

「グループにいたことが助けになりました。他の人にも起きうるんだということを知りました。でも私の感じ方は私だけのものです。一人ではないことがわかった時に、奇妙な感じは減るでしょう。恥じる必要があるのは虐待者であって私ではないということに気づいたのです。彼らに起きたことは他人のせいでもなく、私のせいでもないことも分かるようになります。」

17ページ

セラピーはどのように役立つでしょう

セラピーやカウンセリングを受けることを決めた青年は、結果として人生をよりよいものと感じるようになります。彼らは抑うつや悩みが減り、自分自身を良くとらえ、学校行くことのような普通のことに取り組めるようになります。

「そう。起きたことを話しても、先生は恐れて部屋から逃げ出さなかった。どう扱っていいのかわからなかったので、ふざけた態度で話しました。先生は少し深刻そうで、ユーモアのセンスがないなと思いました。でもそうしてくれたから最後にはまじめに取り組めるようになりました。私が感じていることをえり分け、それが私の人生の多くを占めるものではないことに気付かせてくれました。学校でもうまくいくようになり、私の人生により前向きにとりくみ始めるようになりました」

18ページ

誰が援助をするのでしょうか

こうしたところに連絡を取るとよいでしょう

Sex wise

NSPCC Child Protection Helpline

Care Line

Get Connected

Children's Legal Centre

The Samaritans

Youth Access ChildLine

※それぞれの機関には連絡先が明記されていますが、ここでは省略します

(訳 増沢 高)

To obtain further copies of this and the other booklets in the series, contact YoungMinds. This booklet (ref. B05) was published in 2003. ©YoungMinds 2003.

sexually abused?



YoungMinds, 102-108 Clerkenwell Rd, London EC1M 5SA. Tel: 020 7336 8445, Parents' Information Service: 0800 018 2138; Email: enquiries@youngminds.org.uk, Website: www.youngminds.org.uk. Reg charity no. 1016968

A Young Minds Booklet

page 2

If you know someone who has been sexually abused, or have been yourself you might find this booklet helpful. It will look at:

- ◆ What is sexual abuse? (pages 3-4)
- ◆ Who sexually abuses children? (page 4)
- ◆ How someone who has been abused might feel (pages 5-7)
- ◆ How abuse can affect behaviour (pages 8-10)
- ◆ Telling someone else about sexual abuse (pages 11-14)
- ◆ Getting help with how you feel (pages 15-16)
- ◆ How therapy can help (page 17)
- ◆ Sources of help (pages 18-19)



page 3

what is sexual abuse?

Sexual abuse can include different kinds of activities such as:

- ◆ Some types of kissing
- ◆ Touching private parts of the body
- ◆ Rape (being forced to have sex when you don't want to)
- ◆ Being made to look at pornographic videos or magazines
- ◆ Other acts which are felt by the child or young person to be abusive

This is not the kind of sex play which is a normal part of growing up, when children and young people want to find out about each other's bodies, or when people start going out with each other.





Sexual abusers are usually stronger or in a position of power or authority over the child or young person. They use this power to get the person to take part in sexual activities.

The law tries to protect the safety and rights of children and young people. When someone sexually abuses a child or young person they are breaking the law.

who sexually abuses children?



Abusers are not usually strangers. Most often, they are a relative, friend of the family, neighbour, a lodger, baby-sitter, someone at school, or even a group. Sometimes they can be other young people - a brother or sister or one of their friends. They often secretly abuse more than one child. Sexual abuse is usually carried out by men but sometimes women do it too.



how someone who has been abused might feel



Being abused leads to feelings which are hard to cope with, such as feeling:



dirty
ashamed
depressed
frightened
worried about
suicidal
worried about sexual
scared about having a boyfriend or girlfriend
confused
anxious
angry
embarrassed
isolated
like running away
lonely
guilty



"When I told him not to do it he said 'Don't be silly, it's just a game, what do you mean you don't like it?'. I felt really mixed up. Sometimes he would say 'I'm doing this because I love you...it's our special secret ok?'. I thought maybe it was just me. Maybe I just had the wrong feelings. Maybe all dads are like that and it's just me who's weird."

The person carrying out the abuse may be someone who seems to be very nice in lots of ways. This can make it very hard to accept that they are capable of sexual abuse.

"I know this sounds really stupid now. But I thought that someone who abused people was horrible ALL the time. I didn't think they were nice too, like helping you with your homework or buying you new clothes, normal stuff, so it took a while for the penny to drop."



Some abusers choose to believe that there is nothing wrong in what they are doing. They may claim that those they abuse encourage them. This can cause people who are being abused a lot of confusing feelings, such as that they are to blame if they didn't tell the abuser not to do it, or if they didn't tell anyone. Many abusers rely on the age, inexperience and fear of people they abuse to be able to carry on with it.

"It all started after Dad died. I bottled up my feelings inside because Mum was really gutted. She had to work more shifts to earn enough money. Her brother looked after us in the evenings. That's when it started. He said if I told Mum, she would probably crack up because she's been through so much already."

Adults are responsible for looking after and protecting children and young people. Children are not responsible for protecting adults.



how abuse can affect behaviour

Sexual abuse can also lead to other problems:

- not taking care of yourself
- bed-wetting
- difficulty sleeping
- bad dreams
- running away
- blanking out the memory
- not being able to make friends
- losing your temper
- eating problems
- self-harming
- poor concentration
- using alcohol or drugs



"Before I told anyone, I was scared to go to sleep at night. Even though I tried not to think about what happened, I still had nightmares. I was too tired to bother with school and just wandered around on my own. I felt like an alien, the only one in the world like this, and I couldn't tell anyone."

Everything built up inside. I got into trouble for not doing my work, and ended up chucking a chair at someone. I was told I would be excluded if it happened again. Mum couldn't have coped with that. So I started cutting myself instead."

People often do their best to cope with painful feelings by trying to forget about them. But this doesn't always work.



"I didn't know what to do, because I knew I'd always have to go home and face it. I thought if I could try not to think about it, squash it out of my mind, it could be like it wasn't really happening. But stupid little things would remind me, make me feel horrible inside. My friends drifted away, and I started going round with people who were in trouble. We would walk out of school after registration, go shop-lifting, get drunk and play chicken. Why did I do it? Because for that moment, when I was taking a risk, I knew I wouldn't be thinking about home."

Some people feel that the only way to manage what is happening is to run away from home. If this happens, they are in a lot of danger from people who will take advantage of them. It is easy to become involved in crime or prostitution. If you are feeling like this it is **VERY IMPORTANT** that you get help.



telling someone else about sexual abuse

There are three important reasons why it's very important to get help:

- Stopping the abuse
- Starting to get over what happened
- Protecting other children and young people

"I didn't tell anyone about what was going on for about two years. I sort of tried to before that, by dropping hints. I tried telling someone at school by saying 'If someone I knew was being abused and I told you, what would happen?'. They said they'd have to tell social services. No way could I tell - I didn't want my family to break up and it be my fault. In the end I said something, but only because I thought he had started on my cousin."





Telling someone about abuse may be very hard and can feel scary. You may be worried about what will happen if you talk about it, or if anyone will believe you (if they don't, don't give up, try someone else).

Sometimes it can help if you write down what you want to say first. If telling someone you know feels too difficult to begin with, you could try ringing a helpline. They can give very useful advice about any worries you might have (See pages 18-19 for further details).

You don't have to say who you are if you don't want to, and can say as little or as much as you want.



This may be the first step in helping you think about who else can support you. This could be a:

youth worker,
teacher
friend

relative

doctor
counsellor

police officer
school nurse

social worker



"When I got through to ChildLine it took a bit of time for me to say anything. They didn't hang up though. Anyway, what was really good was they couldn't see my face so they wouldn't know me if they saw me in the street. They were really patient and helped me say what I wanted in my own time, and helped me decide what to do next. When Social Services and the police got involved they were still there for me when it felt like no-one else was."



You may find that the person that you decide to talk to will want to report the abuse to a social worker who can take steps to see that it stops. They will usually talk with you about this first.

If you have been abused, or someone else thinks you have been, there will be an investigation. This is when people such as a social worker, doctor or police officer try to find out what has happened, so it can be decided what should be done to help and protect you.

Some people worry that if they have been in trouble with the police before they will also be punished for being abused, but this is not the case. This can be an upsetting time, but remember there are people who can help you through it.

Whatever happens, even if the abuser is taken to court and is convicted, you are not responsible for what happens.



getting help with how you feel

Telling someone about abuse will not necessarily take away upsetting feelings. There may be times when it might seem better not to have told anyone.

"Loads of times I thought about taking it back, saying it was all lies. I didn't want to believe it myself. I just wanted my family back to normal. I just thought it would be easier to pretend it hadn't happened."

For some people it can be very useful to talk to someone trained in understanding how it feels to have been abused, and how to help. This could be a psychotherapist, psychologist, psychiatrist or counsellor. This does not mean you are mad.





You may want to talk about what has happened to you on your own, or in a group with other young people with similar experiences. Sometimes families find it helpful to talk to a professional together. The kind of therapy offered will depend on what is needed - and wanted.

"It helped being in a group. You know it happens to other people too, but you think you're the only one that feels the way you do. You feel less weird when you find out you're not. It helped me realise it shouldn't be me that feels ashamed, it should be him. You can see it's not other people's fault it happened to them, and they help you see it's not your fault either."



how can therapy help?

Young people who have decided to have some kind of therapy or counselling say that they feel much more positive about life as a result. They feel less depressed and worried, better about themselves and more able to do normal things such as schoolwork.

"Well, they didn't run out of the room in horror when I said about what happened. I wasn't sure how to handle it, so I was talking about it in a jokey way. They looked a bit serious, no sense of humour I thought. In the end it helped though, them being serious helped me take it seriously, and then take what I felt about me seriously. It helped me sort out how I felt and it wasn't so much part of my life. I could manage better at school, and could begin to get on with my life more."



who can help?

It may help to contact some of these places:

Sexwise

Freephone: 0800 28 29 30
 Textphone (for people with hearing impairments): 0800 328 1651
 Lines are open 7:00am - midnight 7 days a week
www.ruthinking.co.uk
 Offers advice to under 18 year olds about sex, relationships, contraception, and sexually transmitted diseases



Carelina

Helpline: 020 8514 1177
 (Monday - Friday, 10.00am - 4.00pm and 7.00pm - 10.00pm)
 Confidential crisis telephone counselling for children, young people and adults. Careline can refer callers to other organisations and support groups throughout the country



Get Connected

Freephone: 0808 808 4994 (7 days a week, 1.00pm - 11.00pm)
www.getconnected.org.uk
 Finds young people the best help whatever the problem



NSPCC Child Protection Helpline

Freephone: 0808 800 5000 (24 hours)
 Textphone: 0800 056 0566 (24 hours)
 Asian Freephone: 0808 096 7719 (24 hours)
 CYMRU/Wales Freephone: 0808 100 2524 (Mon - Fri, 10.00am-6.00pm)
 Email: help@nspcc.org.uk
www.nspcc.org.uk
 A confidential service offering counselling, information and advice for children, young people and families in need



Children's Legal Centre

Advice line: 01206 873 820 (Mon - Fri, 10.00am - 12.30pm)
 Advice line fax number: 01206 874 026
 Email: clc@essex.ac.uk
www.childrenslegalcentre.com
 Free legal advice, information and referrals on any aspect of the law in relation to children and young people

Youth ACCESS

Information Service for 14-25 year olds: 020 8772 9900 (Mon - Fri, 9.00am - 5.00pm)
 Fax: 020 8772 9746
 Email: admin@youthaccess.org.uk
 A national membership organisation for youth, information, advice and counselling agencies. Provides information about youth agencies but does not provide direct advice



The Samaritans

Helpline: 08457 90 90 90 (24 hours)
 Textphone: 08457 90 91 92 (24 hours)
 Republic of Ireland: 18 50 60 90 90
 Or write to: Chris' PO Box 90 90, Strirling FK8 2SA
 Email: jo@samaritans.org
www.samaritans.org
 Confidential 24 hour emotional support service for any person in distress, crisis or at risk of suicide



Childline

Freepost NATN 1111, London E1 6BR
 Freephone: 0800 111 (24 hours)
 Textphone: 0800 400 222 (Mon - Fri, 9.30am - 9.30pm, Weekends, 9.30am - 8.00pm)
 Childline is the free, confidential, 24 hour helpline for children and young people concerned about any problem.
 Lines can be busy, but please keep on trying and you will get through



マルベリーブッシュスクール 治療プラン

氏名 サム ブラウン

写真

更新日 06年5月25日

生年月日：97年12月20日

入所日：05年3月2日

法的立場：ケア命令

宗教

ホーム名：サンセット

担当ケアワーカー：ナタリー・ハードマン

行政の見解の有無 あり

クラス名：イーブンロード

担任：ジョージタイラー

家族チームワーカー：マリア・ルーシー

個人セラピーの実施の有無：有

セラピスト名：カーリン・オニオン

所属グループワーク：ドラゴングループ

ファシリテーター：マーク・センスリーとリサ・ハッチング

緊急連絡先

シェイラ・ブラウン：020-8321-7674

祖父母：0117-184769

ジェイン、ボブ・スミス：01865-411455

連絡を取ってはいけない人

医療上の注意事項

医学的狀態：

継続中の薬物治療：

アレルギー：

1

措置理由

- ・カリキュラムを通して本児に適した知識を獲得しそれを維持すること
- ・友達と関係が作れて維持できること
- ・行動に責任を持ち、自分の長所と欠点を理解できること
- ・年齢相応の聞き取り能力を育てること
- ・状況に応じた適切な情緒的反応が示せるようになること
- ・肯定的な自己イメージを育てること
- ・自分の気持ちを適切に言葉を用いて表現でき、他人の気持ちも正しく理解できること
- ・読み書きと基本的な計算能力を育てること
- ・学習に対する肯定的な態度を育てること
- ・大人の指導に対して適切に応じられるようになること

MBSディレクターによる入所前のアセスメントと入所の目的

入所前のアセスメント

サムは心が深く混乱した脆弱な子どもである。筋道の通らない会話に終始する多弁さは、彼の機能的な弱さを補償しているように見える。彼の里親は、最後の2年間、サムを丁寧に世話し、安全基地を提供していたと思われる。けれども彼の信頼感のなさや、支配的な対人様式を修正することはできなかった。サムと一緒にいると、常におびやかされたような不安な気持ちにさせられるかという、必ずしもそうではないように思う。しかし彼のおしゃべりは程度が過ぎており、我々を非常に疲れさせる。息もつけないような気持ちにさせられる。このような彼の行動が、里親の考える余裕をなくさせ、即時的な対応や、厳しい対応をとらせたように思われる。

サムが一番の課題は、物事をしっかり把握し考えられるよう心の余裕を育てることであろう。彼は過去に生じた解決困難な体験から常に逃避しているように思われる。彼の思考の混乱もまた、こうした体験の中で作られたように思われる。援助チームの役割は、彼がこれまでと違う人との関係のあり方に触れ、許されることと許されないことの境界を学びつつ、情動のコントロールのモデルを取り入れることであろう。大人が、彼の侵入的関わりに対して、心乱されず落ち着いて対応することができたら、彼は、自分の防衛的やり方が必ずしも必要でないことを学びとるかもしれない。これは彼にとって困難な課題かもしれない。しかし我々のなすべきことは、彼の現在の未熟なレベルから、情緒的成長を促すことと考える。

2

基本のプロフィール

施設に訪れてすぐ集められた情報である。登校開始後からの成長経過を示すのに用いる

対人関係の特徴／役割をとることと対人能力	言葉 話すこと 読むこと スペル	聞き取り 書くこと 手書
情緒と行動の特徴（攻撃性のレベルを含む）	算数 数字	
同一性(アイデンティティ)と社会性（文化的認識も含む）	科学的探究心	
日課への適応／場面切り替え時にどのように対処するか	学ぶことや教わることへの態度	
身体的ケア／医学的対応の必要性	学習への内的動機づけのレベル	
アセスメントの要点	学級内での他児や教師との関係性	

3

現時点でのすべきことと目標

最終概要からの地方自治体の決定（2006年1月12日付）

内的目標設定記録／IEP目標

決定	責任者	予定日	IEP目標 06年3月	中間的目標 06年1月24日
マリールーシーとスーザンは、セラピーの初期段階までに、サムが実母の家に訪問できるようアレンジする	マリールーシー／スーザン		大人1人に対して子どもが複数でも、読み書き・書き取り・計算の学習ができる。また大人の世話を得るまで待つことができる。	耳を傾けてもらう（聞いてもらおう）機会を与え続け、大人の言うことを注意深く聞ける能力を育てる。
シェラ（実母）とシャーレイに対しても同様にアレンジする			サムが自分の否定的な感情を扱えるように大人が手助けする。たとえば、自分がどんな気持ちがするのかを大人に話すように促したり、タイムアウトや課題の変更をすることを認める。	自分自身に対してより肯定的な気持ちが抱けるようにする。この気持ちを通して、他者に対してより肯定的な気持ちをもてるようにする。
シェラの家への訪問は スーザンが計画する	スーザン		サムが怒りを感じているときは、クラスを混乱させるよりはタイムアウトを求めることにする。	彼の幼児的な要求が適切に扱われるようにする。要求のあるときに、適切に対処できるようになる。
里親に対して、イースターの計画（帰省）を前もって通知する	スーザン			家でお手伝いをする事と大人の言うことを聞くことという目的を自分で決めた。

4

この6ヶ月間にみられた重要な変化

ホーム

何度も「水曜日シェフアード」(がんばって努力したりよい行いをしたときに与えられるご褒美のスペース)にノミネートされた。

テーブルでの食事中、上手に座っていられることが増えた。他児と打ち解けて話すことができ、必要な時には手伝いができる。

彼の家族や過去の経験に関する厳しい混乱した気持ちを大人に話すため、ホーム内の特定のスペースを使って話すことができた。父親がいないことについてもオープンに話すことができた。

ユーモアのセンスを示し続けた。

自分の気持ちを表現するのに、たたいたり傷つけるという方法をとることが減った。感情を言葉で表すことがかなりできるようになった

12月にランニングを2週間続け、「ブルー証明書」(自分や他人の安全を守ることができたときに与えられる証明書)を獲得した。

自分の部屋に誇りを持つことができた。「よく整理された部屋賞」を獲得した。

夜に自室の床に小便せず、設置された瓶を使うことができ、床を汚すことが減った。

グループ活動で、自分の順番のときに活動し、ゲームのコートアウトのときは座っていられることが増えた。木や高い所にも、下りるように言うと下りられるときが増えた。

他児が困難場面になっている時も、それに影響を受けることなく自分を保てるようになった。またそのことを褒めてほしいと望むようになった。

グループの年長の子と共に過ごせるようになった。年長児のグループと一緒にいることで、年長児と年少児の間でもまわっていたときよりも穏やかに過ごせることが増えた。

何回か年長児のように身の回りの準備をして就寝することができた。

大人の話をよく聞いて、自分の世話をしてくれるまで辛抱強く待つことができた。

学級

文句を言わずに必要な取組を受け入れ始めた。

自分の行動の結果を受け入れることが上手にできるようになった。

読み書きと計算能力はレベルアップしている。

しばしば他児の破壊的な行動を無視できて、良い行動の選択ができるようになった。

子どもの個別リスクアセスメント

更新日 06年6月5日

リスクの領域	最も高いリスクとなる場や時間	子どもの具体的な行動	リスクを下げる効果的な方法
いじめと差別 a)子どもによる b)こどもへの	他の子どもに置いてきぼりにされたと感じるとき。 彼が欲しいものを他児が持って行ってしまったとき。	金切り声などを上げてこぶしを挙げる。もし大人が見ていないと思えば、激しく叩いてしまう。大人が近くにいると出て行って隠れてしまう。	他児に後ろに下がるよう促し、サムに落ち着けるスペースを与える。そのようにできたら褒めてあげて伝える。暴力など悪い方法をとることはいけないと、しっかりとしかし威圧的にならずに伝える。
道具や備品の使用	たいていはきちんと扱うことができる。他児をおどかさふりをするものはある。	年齢に応じた細やかな指導をすれば、指示に従うことができる。	道具が使われている間は、そばにいて様子を見続ける。
校外学習	学校の旅行に参加していくすべての場所と時間帯	行方不明になったことがある。落ち着いて行動していたように見えても、突然走りだしゲームを始めたかのような様になる。道路が安全であるかどうかなど自分を守る感覚がない。またギフトショップで万引きし、他人の車に傷を付けた。	大人がそばに居続け、コンスタントに交流をもつこと。行程中、誰と一緒にいるのか、またそこにどのような力動があるのかについては注意深く計画し、考える必要がある。 店内での定期的な監督が必要である。

無断外出	夕方 休日後か実家と接触した後	窓によじ登ってドアから出ようとしたり、自 転車に飛び乗ったりするなど、無断外出する あらゆる機会を伺う可能性があるだろう。夕 方の2時間ほど敷地外にパジャマ一枚で飛び 出したことは確認されている。他児の誘いに のって無断外出をすることもあるだろう。そ のときはまるで愉快的なゲームを楽しんでい るかのようで、自分のしていることが危険であ るという認識はないと思われる。	施設外にいる他者に不安を感じてい るときは、家を施錠すべきである。 その時間はそばについて肯定的な交 流をしながら、落ち着けるよう支え る。
身体的攻撃	自分がかく奪され たと感じたり、成 し遂げられないと 感じた場合。 幸せでないとき、 他者がそれに配慮 しないとき	まず言葉で脅し、それが身体的攻撃の引き金 となる。引っ掻き、つばを吐き、殴り、蹴り、 締め付け、嘔もうとする。サム自身こうした 行動をとってしまうことには気づいている。 また、自分自身をも傷つけてしまうことにも 気付いている。	必要であれば Proact Skip Program を用いて、落ち着けるよう介入する。 暴れている間は、何を言われても聞 きいれることは難しい。中立的で冷 静なアプローチが望ましく、問題に ついては、「サムの時間」で扱うよう にする。座って泣きやむまで待つ。 その後話しかける。
危機的な自分と向 き合うとき	悩んだり怒ってい るとき	木や屋根に上るなどして大人から離れようと する。	木に登ろうとするなど、逃げようと する行為を妨げる。木に登るなどし ていたら、簡潔な選択肢をいくつか あげ、前は下りることができたよね、 と褒める。自分で決められるよう時間 を与える。
ものを盗るとき	できなかつたり禁 止されていること を望んだ時はいつ でも。	他児の所有物を取り、自分のものであると主 張する。店でそれを得ようとする。	この行動はサムの低い自己評価と結 びついている。大騒ぎすることなく 元の子に返すよう促し、できたら褒 める。
火に関する問題行 動	極めて不安な時、 あるいは未知の環 境におかれたとき	外へ出ている間、トイレトペーパーをヘア ドライヤーに詰め込み、繰り返しスイッチを 入れた。家では照明をクッションで覆ったり、 電気器具をスイッチが入ったまま水に入れた ことがある。	安心したい気持ちを大人に伝えるよ う促す。特に不安そうなときは、し ばらく一人にしないようにする。

基本のプロフィールに沿った経過の概要と対応のありかた

サム の 行動観察	具体的な対応方法
<p>入所に対する態度</p> <p>学校や日課活動では落ち着いて過ごしている。実母と一緒にいたくないという強い気持ちを持っており、この気持ちが施設や里親宅では怒りとして表出される。しかし、家族と定期的に会うようになってからは、徐々に少なくなってきた。施設の様々な場面で楽しんでできる様子が視られる。なぜここにいるのかについて気づき、それを話せるようになってきている。</p>	<p>抱いて当然の感情を表現することを許すこと。そしてその感情に気づき命名化ができるよう手助けすること。</p>
<p>家での様子</p> <p>前概要からの重要な変化</p>	

<p>対人関係の様子／役割と能力</p> <p>現在、サンセットホームの年長児のグループと一緒にいたり、そこにいと、より落ち着いているように見える。そこでテレビの話をしようしたり、年長児の新しい玩具や所持品を見せてもらって過ごしている。うらやましい気持ちを表現し、以前のように盗ってしまうことはなくなってきている。そのうちホームの他の子どもたちとも遊ぶようになるだろう。年少児とも関わることもなり、我を通したり、状況を仕切ろうとするときが生じるだろう。サムは年長児のテーブルで食事をとり、そこで落ち着いてるようである。会話をし、他者と関わる事ができている。しかし全体として、自分を年長児グループの一員だと感じているようであり、年少児グループとも関係を持つ事ができている。[年齢差のあるグループ間の] 葛藤というのは、サム自身が内部に抱える問題の反映であるともみなせるが、サムは年長児グループの中で自分の位置を見つけて安心しているようである。</p> <p>サムの人間関係は大人によって、またその日によっても変わる。時折、ある大人と関係を作り、信頼を育んでいると思ったら、遮断し、不信感を持つように見えることがある。興奮しているとき、職員の名前よりも「大人は」という言葉を使う。サムは「男女」ということに強く反応する。他児らの興奮や逸脱行動をみると自分を失い、大人を遮断する。どれほどの注意が自分に向けられるかに敏感であり、繰り返し大人に質問したりせがんだりする。もし大人がすぐに彼の言葉に反応しなければ、怒って闘争的になる。半分聞いても、気に入らなければ話を最後まで聞けない。通常、他の大人がそこに向かい、サムを見つけ、先ほど言ったことは、OK という意味だったのだよ、という声かけをすると落ち着く。他児がちゃんとしようよと励まして、遊んであげると、サムはおだてられて、かたくなさがとけることがある。サムは「大人の話が聞けるようになること」を自分の目標に決めている。</p>	<p>サムの行動について肯定的に受け止め、模範的な行動がとれるよう励ます。ある状況では、自分が年長児グループの一員であるという期待がもてるように手助けする。年少児と一緒に過ごす必要がある場合があることは認めるが、サムはそれを好まないこともあることも認める必要があるだろう。年少児と遊ぶ時は、混沌状態にならないように、遊びを構造化する。小集団での遊び、入浴時間、1対1の時間など、小さなグループでの「養育時間」を提供する。</p> <p>必要があれば、私（職員）には名前があり、サムが話すときにその名前を呼んでくれると、私はとてもうれしい、ということ思い出させる。サンセットホームでの彼の役割に気付かせる。大人の話を最後まで聞き、それができたら褒める。</p> <p>サムの言うことを聞いていると明確に示す。言葉かけをし続けるために、大人と一緒に作業をする経験を持つべきだろう。可能であればオープンクエスチョンで応答し、自分の考えたことやしたいことを大人に伝えられるよう手助けする。</p>
--	--

自分の居室を快適に使い、適切な方法で他児を招くことができる。まだ時に大便や小便で汚すことがある。彼の寝室はサムご自慢のポジティブな場所であるときと危険で攻撃対象であるときがあり、この両方を行ったり来たりする。少し前までは、他児の居室にバリケードを作ったり、間違った方法で侵入したりしたが、後でなぜそうしたか振り返られるようになった。

サムは想像力があり、創造的で芸術的である。彼が落ち着くようにと大人が空想話をするが、話の筋に熱中している。しばしば温かさや、愛嬌を示すことができる。

広く興味を持つことができ、それが表情、声、体の動きにあふれ出ている。テレビシリーズの医師の話をするのが好きで、その思いを他児や大人に伝えられる。流行の音楽を楽しみ、歌詞を知っている。もっと一般的な意味でも音楽を楽しんでいるようで、時に音楽室に行くと、ドラムをたたいたり、歌ったり、オルガンを弾きたいと頼みに来る。

ゲームで負けると闘争的になる。しかしドラゴングループでは一生懸命にやっており、それが他の遊びの場面にもつながってきている。チームの中で、分かち合ったり、自分の順番を待つなど、安定して過ごしている。しかし勝負に負けてしまったり、失敗したりすると攻撃的でやけっぱちになってしまう。物を集め、部屋の中に蓄える。そうすると安心するようだ。

グループのリーダーではない。しかし熱心に、グループに加わり、彼の考えを提案する。すぐに熱くなり、グループ内でふさわしい行動が取れなくなる。自分の不機嫌さを伝えるために、グループの隅っこに行ってしまう。物を集め、部屋の中に蓄える。そうすると安心するようだ。

小便のとき備え付けの瓶があることに気付かせる。大人は使用後の便を空にしながら、それを使用できたことを褒める。

自分で決めるように励ます。自分で決めなさいと言うだけでは安心できなさそうなどときには、いくつかの選択肢を用意してあげる必要があるかもしれない。

医師のテレビシリーズを録画し、年齢相応の内容であれば見せることを許す。このことを彼に関わる職員に伝え続けること。

他児と遊ぶよう励まし、ユーモアのあるところを他児にアピールする。そうすることで「失敗」ができるようになるだろう。グループでのゲームに戻りたいとき、どうしたらよいかを教える。

うまく遊べたときなど褒めてあげ、どこが良かったかを伝える。

情緒と行動の特徴

全体として、攻撃性のレベルや反抗的な行動は目立って減ってきている。自己コントロールがついてきている。自分の気持ちを表現するのに、言葉や攻撃的でない表現が用いられるようになってきている。

サムには肯定的でしっかりとした自己評価を引き続き育てる必要があるだろう。彼の情緒的段階はまだ脆弱で、行動を見る限り、いかに早く失望と怒りに満たされるかわかるだろう。彼は不正や不平等に敏感である。葛藤状態になるときはすぐに泣いて、突然暴言を吐くが、以前よりは減ってきている。欲求不満が高まったときに、身体的な暴力にでることはあるが、これもかなり減っては来ている。今は思い通りにならないなど、欲求不満を表すときには脅したり金切り声をあげたりする。自分の行動やどうしてそうしたのか振り返ることが以前よりできるようになり、過去の体験について筋道の通った話ができるようになってきている。サムはこれらの難しい話を素直に正直に話そうとしている。これは同じように大変な経験をした他児にとっては難しいことである。彼の言語コミュニケーションは、より明確で素直なものになってきているが、彼がきちんと表現できるよう促すなど、大人の忍耐は必要である。彼独自の世界に入り込んでしまうことも減ってきている。人の話を聞くことには困難を有するが、改善すべく努力は続けている。集中したり、食事やミーティングにきちんと参加するためにはサポートが必要である。また他児が彼に怒りをぶつけてきても、それに乗らずにすることが時々できるようになっている。

サムは自分の選択や判断により安心感を抱きつつあるが、状況によって他児の行動に引きずられ、自分を失い、ときに例えば他児の横にバリアードを作るなどびっくりさせるような行動をとるだろう。しかし声をかければ、自分の行動や考えに責任を持つことができるようになってきている。

気持ちを何とかするために木の登ることをしなくなってきた。こうした気持ちはセラピーで扱うことができている。ホームや家族との接触時などでも、これらの気持ちについて適切な方法で考えたり振り返れるようになってきている。欲求不満を適切に表出しているし、表出するにふさわしい場所を見つけられるようになったと思われる。“[時と場所の] 移行”にはまだ難がある。下記の「場面切り替え時」の項を参照のこと。

居室の床に小便をすることがほとんどなく、ピンを使えるようになった。夜間に歩き回ることに不安を感じているが、そのことを大人に話すことができるようだ。時々お化けの悪夢を見ていることを話す。夜の時間の恐怖を言語化できる。大人と話し、なだめるように腕をぼんぼんとたたいてもらいながら、楽しい物語を聞かせもらうことで、落ち着けると感じているようである。床におしっこをしなかったことを褒めると喜ぶ。彼の情緒的段階では小便することが大人とのコミュニケーションの手段であり、大人にとっては、小便の処置もサムとのコミュニケーションの場面であると考えられるとよいだろう。

大変な状態になることなく何かをなし得たときはほめたたえることが基本である。

彼のとった行動の、どの部分が良くて、どこが悪くなかったかを明らかにする。何がいけないかを知る必要があり、それによって正しいことをすることを誇りに思えるようになる。

難しい事柄については、夜であったり他児がいないなど、時間や場所など正しい方法で話せるよう励ます。サムの情動について気になったら、その会話を記録し、カーリン（セラピスト）に伝える。

大人はサムの家での目標をサムに気付かせる。

自分の決めたことをやり遂げるよう励ます。不安定な時には簡単に声掛けをし、いくつかの選択肢を与える。

浴室を使っている間は電気を点けておくこと。トイレを使うようはっきりと言うこと。それができたら褒める。遺尿に関して感じていることは何でもオープンに伝えてもらうようにし、チームに持ち帰ってその意味を考えること。

<p>セルフケアの能力／基本的なケアの必要性</p> <p>自分で体を洗い、着替えることができるが、大人に手伝ってもらうことを喜ぶときもある。歯磨きは声かけを必要とする。髪を洗ってもらったり、浴室で遊ぶのを楽しんでいる。</p> <p>この6ヶ月間、概して健康状態は良好である。鬼ごっこや走り回ることを好む活動的な子どもである。彼はサッカーに熱中しており、他児がサッカーをしていると一緒に混じって参加している。昨年折った腕については悪化していない。</p>	
<p>同一性と施設外での関わり</p> <p>同一性感覚（自己感覚）は大変もろく、すぐに不平等感や剥奪された感覚に包まれてしまう。大人は自分の求めることをしてくれないと思ってしまう。彼は自分がどう感じているかを話すことはできる。自分は良い子でない、何もできない、放っておかれる人間と思ってしまうがちである。しかし、達成できたことを誇りにでき、それに没頭できる。「ブルー証明書」や「よく整理された部屋賞」を受け取ったとき、誇らしげな表情をみせた。良い時は、居室を長期間、きれいに見栄えよく保てた。しかし欲求不満のときは、達成できたものや没頭しているものを破壊したり、傷つけてしまう。（彼の居室を心地よく保つには大人の手をたくさん必要とする）</p> <p>いつもは適切に洋服を身につけるが、寒い日に外で遊ぶ時には、充分あたたかい服装をするよう声かけが必要である。もし彼が混乱状態であれば、だらしない服装で、自分の身を整えることさえも拒否してしまう。</p> <p>校外学習の間、彼の行動は概して良いレベルで、周囲に物事への興味の持ち方も適切である。彼は旅行を楽しみ、大人の期待以上の行動がとれた。サムは旅行のことを興奮気に話すことがよくあるだろう。</p> <p>学校で家族について話すことができる。母親のことを、名前や「僕のママ」と呼ぶ。父親の実情について話すことができる。彼の父親への気持ちや過去の厳しい体験に触れると混乱する。父親が家族を残していったことを、様々なグループ内で平気で話している。</p>	<p>何かを達成できて、自分に肯定的な感情をもてるよう励ます。大人の話聞けるよう、また注意されないように励ますこと。</p> <p>もし彼が、家族や生い立ちについて話すときは聞くように。援助者が「質問してもよいか」と思えば質問するとよい。必要なら、適切な時間に話を求めるよう求め、なぜ今がダメなのか説明する。</p> <p>大人は父親が家族と離れていることについてオープンで正直であること。カーリンや他の大人と一緒にいるときなど、最も適切な時間に父親について話すよう励ます。自分自身のことを話したいかどうか、大人は気にかけておくこと。わからないときは、父親について話したいかどうかサムに尋ねてみること。</p>

<p>文化的認識と必要性</p> <p>文化的違いはほとんど気にしない。これは白人のこの年齢の子どもの特徴であり、発達段階である。最近、明らかに白人の名前でない子どもがサンセットホームに入所することでサムは不安になった。サムはその子の皮膚の色やどこから来たのかに不安になった。このことは文化差に気付き始めたことを示している。</p> <p>サムはロンドンから来ており、ホームの他の子どもも同様である。彼は今自分が母親と暮らしていないことに気付いていて、シェラと一緒に生活、祖父の家への訪問、スミスとの生活が違った経験であることを述べている。ここ何回か、施設の時間の終わりとスミスの家の始まりの境界をサムが曖昧に感じていると思われた。しかし今は、施設は課題が取り組む場であると感じるようになってきている。家、里親、施設などを区別して、その雰囲気語るができる。</p> <p>サムは彼の家、里親そして学校、それぞれの文化の違いを受け入れられるようになってきている。自分の興味、例えば医者ドラマシリーズは、どの場所に行っても保持し続けることができる。</p>						
<p>日課への適応/場面切り替え時にどのように対処するか</p> <p>日課を快く受け入れているが、日課に乗り続けるには、大人の注意がかなり必要である。大人の注意を惹きたいときや機嫌が悪い時には、のろのろと日課をすることがよくある。自分の衛生管理に関しては良くなってきているが、入浴、歯磨き、着替えには大人の声かけが必要である。サムは基本的な生活のケアを受けることに葛藤がある。例えば、人から言われて入浴するのにはかたくなになる。自分でどう着替えるかはよく理解できている。</p> <p>他の子どもが逃走しようとしていると思うと、自分はしてはいけないと考えて葛藤するだろう。日課にそって行動していることを誇りに思う時もある。学校時間での活動の移行時間で不安になることはなくなっているが、まだ大人が近くにいると手助けしてくれる必要がある。状況によっては逃げだしてしまうが、それも少なくなってきた。</p> <p>実家族への訪問後は、サポートを求めたがる。時にイライラしてしまうが、筋だつて訪問でのことを話し、大人が手助けすることを許すようになった。</p>						<p>他の文化や伝統を理解し、施設のカリキュラムと日常生活の中で重要としていることを理解できてきている。</p> <p>アイデンティティについて話し、初期に経験した文化的経験と今の経験との違いを話せるよう励ますこと。</p>
<p>挑発的な行動をすれば大人の注意を惹くことができると思わせないことが重要である。彼の無礼なふるまいに巻き込まれるよりは、理性的に声をかけるように心がける。彼に何かをさせる時には、彼がお兄さんになってきたことや、ユーモアのセンスがあることをアピールすること。ゲーム感覚でやらせるとよいこともある。なぜその行動をとって欲しいのかを説明すること。</p> <p>大人とのやり取りや大人が近くにいることは重要で、サムが日課を続けられるようにするには、タッチサポートが有効であることがわかっている。</p> <p>帰省から戻ってきたとき、実家について話す場を与えること。</p>						
ホーム名	サンセット	担当ワーカー	ナタリーハードマン	日付	06.6.7	

健康面のケア／医療の必要性

最終検診日

LAC 医療機関：06.7.14 歯科：06.2.21 学校身体検診：05.7.12 視力検査

体重 身長 医師の指示

最終健康診査からの変化

他の特記事項／発達段階

相談／その他必要な医療的ケア

学校	
前概要からの重要な変化	
学級での他児や教師との関係 幸せそうに他児と一緒に活動し遊んでいる。人気者で遊びの幅も広い（ごっこ遊び、ボードゲーム、レゴなど）。楽しみを共有でき、他児から親しみをもって関わりやすい子と見られている。ジョージア先生と一緒に活動できないときは不満を言うときもあるが、総じて大人と一緒によく活動できている。	
課題への取り組みや学ぶ態度 自分の成長を実感できているが、まだ課題を渋る。サムが望んで課題を引き受けるためには、それが楽しい活動であると見せる必要がある。楽しくない課題は、彼のスキルを高めるために必要であっても受け入れることはできない。楽しんでスラスラ読める本があることを見つけたとき以降、彼の読書への態度は向上している。コンピューターやインタラクティブホワイトボード〔訳注：学習内容が大きなスクリーンに映写され、指やペンなどで直接スクリーンに触れて問題を解いたり、書字したりするもの〕を使った活動が好きである。	
学ぶ際に気に入っている方法やよく反応する方法 実用的で創造的な活動を楽しむ。コンピュータを用いたり、特にインタラクティブホワイトボードを通してのグループ活動が好きである。それが課題と思わず、ゲーム感覚で学ぶことができる。特に書き取り課題のような形式的な状況での課題への取り組みを最も嫌う。	
学習動機づけのレベル 学習を始めることが困難であるが教室に入ってしまうほどでもない。一度始めれば、促せば続けることができ、その活動を楽しみ興味を持てたことに自分でも驚くことがある。学びたい気持ちはあるが、目新しいことに揺れ動かされ、混乱しがちである。	
前回の概要以降の学級内の変化 前学期に2人の子どもが加わった。	
学校のある日での特別対応や薦められていること 週に2回、心理治療に通う。	
彼の周辺、チーム、学校、職員連携の特徴や動き 自分が大人から一番気かけられていると信じることに抵抗がある。励まされればお兄さんらしく行動できるが、まだ他児と良くないことで一緒になってやってしまうことがある。マルベリープッシュスクールの大人たちはかなりの程度サムのことを気にかけているので、サムの行動化は減少する。しかし行動化が減少すると、大人たちの気にかける程度が減ってしまい、サムが大人たちの関心から消えてしまうくらいのレベルに落ちてしまうことがある。ネットワークの機関の間の摩擦は少なく、サムの最大の利益のために物事が行われているという信頼感が機関同士で育っているように見える。	サムや各機関にとって事態が順調に進んでいるときでも、実の家族―養育者―施設の間のコミュニケーションは維持すること。 各機関がサムについて考えていることを、サムも一緒に見る必要がある。また里親、実の家族、施設の間の違いの調整がうまく進んでいるのは心地よいことだ、と我々が感じていることを知る必要がある。 サムが里親や実の家族について話すことは、いかなることであれ、オープンな気持ちで耳を傾け、語る必要があることである。

<p>家族との接触／家族支援／専門サービスとの連携</p> <p>実母との電話のやりとりはまだ難しい。たまに実母に話すが、体の痛みに関しては話したがらない。こうした電話が施設と家族との間に緊張を生じさせている。確認：現在もそうなのか？</p> <p>サムと同じ地方当局から措置された子どもがサンセットにもう一人いる。このため、サムの以前の養育者が他の子どもの件で訪れることがあり、影響が生じるだろう。</p>	<p>電話については、優先事項である。担当ワーカーはシステムがきちんと動くようにしておくこと。</p> <p>他児の対応を考える際、左記のことを心にとどめておくこと。</p>
<p>個人的取組／グループワーク／生育史ワーク</p> <p>ドラゴングループに参加している。これはサンセットホームの中で週に1回行われるもので、グループで遊べることや協力し合うことが目的である。協同遊びでは一生懸命取り組むことができ、自分の番で話せて、楽しめるようになるなど改善している。</p>	
<p>個人セラピー</p> <p>週2回心理治療を受けている。</p>	

学力の進歩	
全国教科レベル (2006. 7.)	この記録は、学級の教師が、読み書き、算数、科学について、全国教科レベルを用いて評定したものである。目安として、幼児教育卒業（7歳）時点の平均がレベル2、小学校卒業時点（11歳）がレベル4である。 特別教育を受けている子どもの進行状況を見るために、レベル3以下はさらに小さなステップで区分される。低いレベルから順にP1-P8、1c、1b、1a、2c、2b、2aである。
英語	
話すことと聞くこと：レベル2c	明瞭にコミュニケーションがとれる。適切な語彙を用いて考えを述べるができる。他人の言うことを聞けるようになってきた。
読解力：レベル1c	読書を楽しむ。読むことにはとても不安を感じていたが、良く読める本を数冊見つけてから不安は減少してきている。言葉を判読しようとするとき、混乱して、自分の音声技能を使わずに、想像で言葉を特定してしまうことがある。彼は自信をえるのに時間がかかる。頻繁に使われる50語彙ほどは認識できる。サムは自分の読解力を疑っており、そのために一歩引いてしまう。
書くこと：レベル1b	コミュニケーションに使われる簡単な文章を書くことができる。ピリオドとは何かを理解することができる。
書きとり：1a	自分の取りくみに誇りを持っており、作品を自慢する。手書きで手紙を書く練習に取り組み始めている。着実に首尾一貫した手紙を書けつつある。手紙を書くとき、例えばpやfなどの文字をラインに沿って正確に書くのに苦労している。
スペル	Thやchなどの2重字を含んだ簡単な単語のスペルを始めている。THRASSチャートを利用してスペルを探すことができ始めている。子音・母音・子音単語を書くときに音声を用いることができている。
算数：レベル2c	数字の課題では素晴らしい進歩を見せた。桁を理解しつつあり、1000までの足し算ではそれを用いている。数字を正しく書くことがまだ難しく、例えば2の斜め線などは練習の必要がある。奇数と偶数を理解し、2の段の掛け算を練習している。
形状、空間、測定：レベル2c	平面図と立体図は理解し説明できる。15分刻みで時間を言うことができ、時や時間を含んだ現実生活で試すことができる。長さや重量を測るときに適切な用具を用いて、適切な単位を使うことができる。
算数を用いること活用できること：レベル1	数の問題をグループで一緒に解くことを楽しめる。すぐに答えがわからないと不安が増す傾向は残っている。現実の生活状況に算数を適用することができる。
データを扱うこと：レベル2b	データをリストや表に編成することができる。情報を引き出すためにグラフやチャートを読み始めている。現在、バスケットについて情報を集めており、それを計算チャートと表を使って記録できている。計算チャートや表から情報を読み返すことができる。
科学：レベル2	科学実験を好み、事実を見出すことに興味を持っている。科学の時間とセラピーの時間がかち合うことがあるが、参加できる授業にはよく取り組んでいる。
情報コミュニケーション技術：レベル2	読解能力によって制限されるものの、自主的に様々な情報コミュニケーション機材を用いることができる。インターアクティブホワイトボード、デジタルビデオカメラ、コンピューターを使用するのを楽しめる

デザインと技術
企画を立て実施することができ、それを振り返り評価することができ始めている。創造的で芸術的で、これらの技術を、企画の実施に適用することができる。コンピューターデザインの授業を楽しんでいる。
歴史／地理
ビクトリア時代と現代の違いをよく理解しているようだ。ウェブサイト、本、ビデオ、挿画資料など、出来事の写真などを集めるために様々なリソースを使うことができる。ケニアの授業では、ケニアとイギリスの違い、ケニアの中の地域差についてよく理解できていることを示した。
芸術
良い芸術的技術を持っている。創造的に注意深く作業をする。特に最近の「旅行」という作品は大変優秀だった
音楽
音楽の授業を参加し、新しい歌を学ぶことができた。打楽器を使ってリズムを刻むことができ、簡単なミュージカルの楽譜学んでいる。
体育
よくがんばって参加した。ルールにのっとってチームゲームに参加できた。やる気があり、またやることことができる。高跳びの練習ではやる気を示した。
宗教教育
体験した宗教の儀式に興味と理解を示した。イスラムのワークでは自分の信念と他の人々の信念について考えが及ぶことを示した。

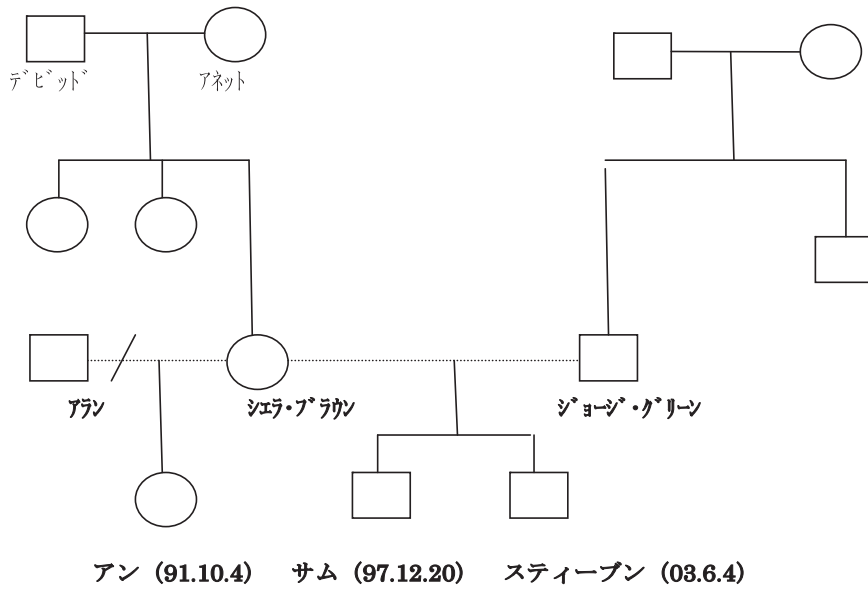
17

基本的な技能習得の計画

氏名：サム・ブラウン		クラス：イーブンロード		
心配な領域：読み書きと計算				
目標：足し算も含め1ポンドまでの通貨を使えること				
目標：20までの引き算に自信が持てること（通貨を使つての引き算も含む）				
目標：文全体をきちんと書けるように取り組み始めること。スペルを選ぶときに発音と関係づけられるようにする。				
場 所	活 動	頻 度	責 任 者	教 材
	推奨される活動	頻度	責任者	必要なもの
学校	1) コインを使って早く計算する：お金のゲーム、買い物ごっこ	算数の時間と朝の時間	クラスの教師、スタッフ	ゲームとワークシート、お金ゲームとスタンプ、硬貨
	2) ホワイトボードとインタラクティブなコンピューターのワーク：	算数の時間と朝の時間	クラスの教師、スタッフ	買い物アイテム、お金スタンプ
	3) THRASS チャート、語彙バンク、コンピューターなど	書字の時間、少なくとも週2回の読み書きの時間、朝の時間に少なくとも週1回	クラスの教師、スタッフ	THRASS チャートなど
ホーム	毎日読書をする。イエローレベルより始める（ジョージアにどんな本がよいか助言を受けること）。学級から本を借りてもよいし、家の本を読んでもよい。読み聞かせをすると、読書が価値があり楽しいものであることを認識するのに役に立つだろう。	できるだけ頻繁に	ホームのスタッフ	本
ホーム	現実の生活の中で可能な限りお金の計算をする。できる限り読書し、読み聞かせをする（使用頻度の高い語句を使った簡単な本）。必要ならば学級から本を借りてもよい。	可能な時はいつでも	スーとローレンス	本

18

家族サポートチームからの概要
(本セクションは家族との共同作業で作られている)



最初に何がサムを傷つけたか

- 両親間の葛藤を目撃したこと
- 同居の叔父が拘留されたこと
- 1ヶ月後に父親が家を出たこと
- 寝室に火をつけた後入院させられたこと。その後家には1度も戻っていない。
- 里親に委託されたこと

なぜマルベリーに依頼されたか

- 学校での行動と里親宅での行動があまりに破壊的だったため
- 里親が措置解除の通知を受けたため
- 彼の心理的なニーズに対して治療的な環境が必要だったため

サムはどのような行動上の問題や心理的な問題を抱えているのか

- 家で2回放火しようとした（2回目は深刻で彼の叔父が逮捕された翌年であった）
- 現在の里親宅でも火に対して魅了されている様子を示した。マルベリープッシュでもスタッフにそう語っている。
- 素直でない
- 最初の里親宅で、軽い程度の性的行動化をいくつか示した。しかし彼の年齢に適ったものであった。
- 他児や大人に暴言を吐く
- 所有物をいためつける
- 他児や大人への身体的攻撃
- 他児と分かち合うことが難しい
- 他児の問題行動に巻き込まれやすい

残っている問題

- 施設、里親、祖父母の家という3つの異なる場に対応する必要がある。この3カ所の連携はうまくいっていない。
- 自分の長期的見通しが持てていない
- 職員同士が密に協働を行っていくことが大変重要である。そうでないと、サムを不安な状態にさせてしまう

サムにとって何が可能か

- 現在の里親は彼のことが大好きである
- 様々なネットワークは協働できている
- 実家族と定期的に確実な交流ができている
- 1年以上同じ担当ソーシャルワーカーであった
- マルベリーへの措置により、情緒的に正常な判断力が育てられた

現在の状況とネットワーク上での最近の動き

- 児童思春期メンタルヘルスサービスのウィットニーとアルソップ医師がサムの火への執着を理解するためのアセスメントを開始した。
- 自閉症スペクトラム障害の診断の有無について明らかにするため、バーレイ教授のアセスメントがなされた。その結果を待っているところである
- 11月5日よりキャリー・オニオンズによるセラピーを開始した。
- 10月5日から自分の寝室を持った
- サムは父親についてや、父親がいなかったことについて話をしている。彼の家族と里親、施設はこの過程を支援している
- ソーシャルサービスは退所後のサムの居場所について、どのようにすべきか考えている。専門家と家族とは違った見解を持っている。この過程は進行中ですべての機関が連絡を取り合っている
- ソーシャルワーカー（スーザン）とマリー・ルーシーは検討を進めるためシャエイラ・ブラウン宅に訪問した。
- スーザンらは7月に里親宅に訪問する予定である。

- INDEX:**
1. Age, status, relevant school staff
 - Medical alert and emergency contact information.
 2. Statement and pre-placement assessment
 3. Baseline profile
 4. Review decisions and targets.
 5. Achievements.
 6. Risk assessment, behaviour management plan.
 8. Progress Review and practice guidance.
 16. Academic progress.
 18. Basic Skills plan.
 19. Family History

Responsibility for Updating (colour coded):
 Family and Admin Teams
 Education Team
 Shifford Team
 Household Teams
 Psychotherapy Department
 Key Worker or Group Facilitators, Music Teacher etc.
 School Nurse

Mulberry Bush School Integrated Treatment Plan Sam Brown

PHOTO

ITP Areas Last Updated: 5.6.06 20.7.06 25.05.06

DoB: 20.12.97 **DoA:** 2.3.05 **Legal Status:** Care Order **Religion:**

House: Sunset **Key Worker:** Natalie Hardman **Stated:** Yes

Class: Evenlode **Teacher:** Georgina Taylor

Family Team Worker: Marie Luise Enderl **Individual Therapy:** Yes

Therapist: Caryn Onions **Formal Group Work:** Dragon Group **Facilitators:** Mark Sainsbury and Lisa Hutchings

Emergency Contact Information:

Sheila Brown: 020 8321 7674
 Grandparents: 0117 184769
 Jane and Bob Smith: 01865 411455

Not To Contact:

Medical Alert Information:

Medical condition:

Prescribed Medication:

Allergies:

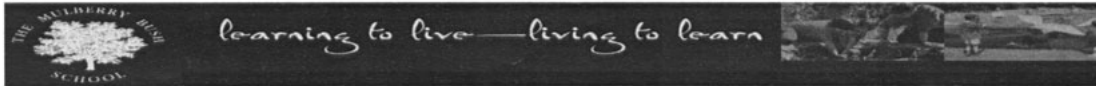
Statement Details

- To achieve and maintain attainment appropriate to his ability across the curriculum.
- To build and maintain appropriate relationships with his peers.
- To accept responsibility for his behaviour and understand his strengths and weaknesses.
- To develop age appropriate listening skills.
- To show a range of appropriate emotional responses in a range of situations.
- To develop a positive self-image.
- To be able to articulate his feelings appropriately and appreciate the feelings of others.
- To develop his appropriate literacy and numeracy skills.
- To develop positive attitudes to learning.
- To respond appropriately to adult instructions.

Placement Objectives and Overview from Pre-Placement Assessment by MBS Director

Pre-Placement Assessment:
 Sam is a deeply confused and fragile child. He seems to over-compensate for his lack of functioning through a defensive chatter which tends to dominate and confuse rational conversations. I think that his foster carers have provided him with a caring and secure base for the last two years, but it is clear to me that this has done little to modify his mistrustful and controlling ways of coping with relationships. I did not at any time feel intimidated or anxious about being with Sam, but the presence of his chatter was intense and exhausting. My overall feeling was almost of having no space to draw breath. I also wondered whether this behaviour had almost forced his foster carers to interact in an intense way, with little room for thought and reflection about his impact on them.

I think helping Sam to develop a sense of internal space where things can be held and thought about is the central task in his treatment. I imagine he is in constant flight from a range of difficult and unresolved feelings about his past; his confusions of thinking must also get in the way of making sense of these feelings. I think the role of the team is to develop clear boundaries which allow Sam to explore other ways of relating, and to role model the function of emotional containment. If the adults can be seen to think and reflect and not be distracted by his impingement, he may learn that his defences are not always applicable. I imagine that this will be challenging for Sam, but our task is to help him grow from an emotionally impoverished baseline.



BASELINE PROFILE

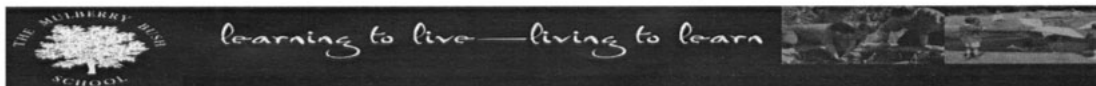
This information was gathered soon after arrival at the school. It can be used to indicate progress since starting at the school.

<u>Quality of relationships / roles and abilities</u>	<u>English</u> Speaking: N.C. Level Listening: N.C. Level Reading: N.C. Level Writing: N.C. Level Spelling: N.C. Level Handwriting: N.C. Level
<u>Emotional and Behavioural Qualities (incl. levels of aggression)</u>	<u>Maths</u> Number: N.C. Level
<u>Identity and Social Presentation (incl. Cultural Awareness)</u>	<u>Scientific Enquiry</u> : N.C. Level
<u>Adaptation to the Daily Routine / How he Copes with Transitions</u>	<u>Attitude to learning and being taught</u>
<u>Health Care / Medical Needs</u>	<u>Level of self motivation to learn</u>
<u>Story Stem Assessment:</u>	<u>Relationships to other children and teachers in class</u>

Date completed:

© The Mulberry Bush School 2006
N:\wholeschool\School Sec In\Anon ITP okayed by lindsey.doc

3



Current Targets

LAC Decisions from Last Review (dated 12 January 2006):

Internal Targets Setting Record /IEP Targets

Decisions	People responsible	Time-scale	IEP Targets March 2006	Medium Term Targets 24.1.06
<ul style="list-style-type: none"> Marie-Luise and Susan to arrange for Sam to visit mother's home whilst he is still in early stages of therapy. 	Marie-Luise/Susan		For Sam to manage to share an adult with another child during literacy / writing activities and numeracy, and to bear sometimes having to wait for the adult's attention	For Sam to experience being listened to and to continue to develop his ability to listen carefully to adults (Ongoing target)
<ul style="list-style-type: none"> Contact arrangements to remain the same with Sheila and Shirley 			Sam to let adults help him with difficult feelings; for adults to either talk to an adult about how he is feeling or accept offers of help such as time out, change of activity etc.	Sam to feel more positive about himself. Through this Sam to be more positive about other people.
<ul style="list-style-type: none"> A visit to Sheila's home to be organised by Susan. 	Susan		Sam to ask for time out when he is feeling angry rather than disrupting the class	Sam's to feel his infantile needs are met appropriately. Sam to be able to function appropriately well when needed.
<ul style="list-style-type: none"> Foster carers to be given advance notice of Easter arrangements by Susan 	Susan			Sam has decided his own target he would like to work on in the house is to try and listen more to adults.

© The Mulberry Bush School 2006
N:\wholeschool\School Sec In\Anon ITP okayed by lindsey.doc

4

Significant Achievements Over the Last Six Months

<p>HOUSE:</p> <p>Sam has been a candidate many times for Wednesday Shifford, (a space provided as a reward for good effort or behaviours)</p> <p>Sam is increasingly able to sit well through a mealtime at the table. He is able to converse with other children and helps serve on occasion.</p> <p>Sam has used spaces in the house to talk to adults about difficult and troubling emotions, concerning his family and his experiences. This includes talking openly about his father's absence.</p> <p>Sam continues to show his sense of humour.</p> <p>Sam uses less hitting and hurting to express his feelings. He uses words much more to talk about feelings.</p> <p>Sam received 'Blue Certificates' for two weeks running in December (given when a child has kept themselves and others safe for a week)</p> <p>Sam has taken pride in his room and has received tidy room awards.</p> <p>Sam is smearing less and uses a bin to urinate into rather than onto his bedroom floor during the night.</p> <p>Sam is increasingly ably to take turns in group activities and sit out when caught out in a game.</p> <p>Sam has become more able to come down from trees or similar</p>	<p>places when asked.</p> <p>Sam is more able to keep himself out of other children's difficulties. He can ask for praise for this.</p> <p>Sam spends time with the bigger children in the group and appears more settled rather than struggling between the smaller group and the bigger group</p> <p>Sam has been on bigger night several times which is provided for the bigger children when they doing well.</p> <p>Sam is able to listen better and more often waits patiently for an adult to spend time with him.</p> <p>CLASS:</p> <p>Sam has begun to accept the need to work without so much protest</p> <p>Sam is getting better at accepting the consequences of his actions</p> <p>Sam's literacy and numeracy skills are improving</p> <p>Sam is often able to ignore others' disruptive behaviour and make good choices for himself</p>
---	--

Individual Child Risk Assessment

Date when checked and updated: 5.06.06

Area of Risk	Place and time of highest risk	Description of child's behaviour	Effective ways of reducing risk
Bullying and discrimination a) by the child b) to the child	If Sam feels left out by another child or that another is getting more of something he wants.	Sam will raise his fist, scream etc. He can sometimes hit out particularly if he thinks adults are not watching but that an adult is close enough to then go and hide behind.	Encourage others to back off and give Sam room to calm. Offer Sam praise for the things he is doing right. Offer firm but not bossy ideas of how to not make things worse.
Use of tools and equipment	Generally responsible - can threaten with objects usually without real intent.	Will follow instructions well with close supervision due to his age	To keep close monitoring whilst tools are being used
Trips out of school	Any situation where Sam is part of an organised trip out	Has a history of absconding, will appear managing and calm but will run off and pretend it is a game, has no sense of self preservation, i.e. road safety awareness. Has shoplifted in a gift shop. Has caused damage to a member of the public's car.	For Sam to remain very close to adults and to have constant interaction. Careful planning and thought is needed to decide who he is with on the trip and what dynamic that presents. Constant supervision in shops.
Absconding	Evening and after a holiday or contact with birth family	Sam will climb out of windows run out of doors or take any opportunity, e.g. jump on a bike, to abscond. Sam has been known to abscond wearing only his pyjamas Sam has been off site during the evening for more than two hours. He will Abscond after following the lead of other children and will appear to believe it is a fun game, he has no recognition of the danger he puts himself in.	The house should be secured (locked) if Sam is anxious about others being outside. Sam to be kept in mind during settling time, positive interaction helps keep Sam on side.
Physical Aggression	If Sam feels he is being deprived or is 'hard done by.' When Sam is not	Sam will verbally threaten and this will lead onto physical aggression. Sam is known to scratch, spit, punch, kick, pinch and will try to bite. He has also been known to try to hurt	Calm intervention using the Proact Scip program if necessary. During breakdown Sam will find it very difficult to hear anything that is said about him or to him,



	happy and others are not sensitive to this	himself	a neutral and calm approach works well, also dealing with problems in 'Sam's time' i.e. sitting and waiting until he has finished screaming, and then start to talk to him.
Placing self at risk.	When distressed or angry.	Sam will take himself away from adults and e.g. climb a tree or onto a roof.	Interrupt his trying to run off. If he is up a tree etc. offer clear options and praise for his coming down on previous occasions. Allow him time to decide for himself.
Taking things	Any situation when Sam wants something he cannot or should not have	Sam will take other children's belongings and claim anything he likes as his own. He will take things in shops.	This behaviour is experienced as linked to Sam's low self-esteem. Offer ways for him to give things back without a big fuss and praise this. However be prepared to remove things and hold onto realistic expectations and boundaries.
Fire starting	When Sam is particularly anxious or in unfamiliar surroundings.	Whilst on outward bounds, Sam stuffed paper towels into a hand dryer and repeatedly switched the machine on. At the house, Sam has covered a light fitting with a cushion and he has also put electrical items into water whilst switched on.	To ask Sam if he has anything that he could give to adults to make him feel safer. For adults to be sensitive to his mood, especially when he appears anxious and not leave Sam alone for prolonged periods.



Progress Review and Practice Guidance Report

Observations of Sam's	Practice Guidance
<p><u>Attitude to the Placement</u></p> <p>Sam remains comfortable within the school and the routines. He has strong feelings about not being with his mum and these can be expressed as anger towards school or foster placement. This seems to have shifted slightly since he has begun regular visits to his family. He appears to enjoy many aspects of life at school. He is increasingly aware of why he is here and is able to talk about this.</p> <p><u>In The House:</u></p> <p><u>Significant changes since the last review</u></p>	<p>Allow Sam to express any feelings he has appropriately and help him notice and name them.</p>
<p><u>Quality of relationships / roles and abilities</u></p> <p>Sam now seems more settled within the older group of children in Sunset and prefers their company. Sam spends time with the older group talking about television and trying to share toys whilst being interested in their new toys and belongings, Sam has been able to express jealousy about these belongings and steals much less frequently than he used to. He eats on the older table and seems settled there, making conversation and engaging with the others. He will still play with most members of the household and this sometimes results in him merging with the younger group. This merging occurs when Sam doesn't get his own way or sometimes when he seems to want to be in control of a situation. However, on the whole, it appears that Sam can increasingly identify himself with the older group of children, yet is still able to relate to the younger group. Sam seems more at ease with his place in the group, rather than it reflecting struggles within him.</p> <p>Sam's relationships vary from adult to adult and also from day to day. He can sometimes seem engaged and trusting of a given adult and then cut off or distrusting. If excited he still uses 'adult' rather than your name. He responds well to men and women. He can become lost in a group of children's excitement or delinquency and cut off from adults. He is highly aware of how much attention he is getting and will repeatedly ask adults a question, usually a request. He struggles if the adult is unable to respond to him immediately. He particularly struggles to hear the end of a sentence if the first half is not to his liking. Usually it takes an adult to go and find Sam and reassure him that what was said was ok. Sometimes other children encourage him to do the right thing, so they can play with him and this sometimes coaxes Sam out of his stubbornness. Sam set himself a target to listen to adults more.</p>	<p>Continue to be positive about Sam's and encourage him to role model behaviour. Help Sam to manage the expectation of being part of the 'bigger' group in certain situations. Recognise that he needs time with the smaller children but that he may not always like this. Promote more structured play with the younger children to prevent merging in an unhelpful fashion. Also provide small and nurturing times through small play, bath times and one to one interactions.</p>



Sam can use his own bedroom well and appropriately allows others into it. He still occasionally soils and urinates there. His bedroom fluctuates between being quite a positive place of which Sam is quite proud and a space, which is not safe, that he can become attacking in. He has recently barricaded in another child's room and merged in a negative way but was later able to think about his reasons behind this.

Sam has a well-developed imagination and is creative and artistic. Sam enjoys listening to imaginative stories that adults make up during his settling and contributes enthusiastically to the plot. Sam is often able to show his warm and fun loving side. He can be wildly enthusiastic about things and his enthusiasm bubbles over in his face, voice and body language. He loves to talk about the Doctor Who series on television and revels in other adults or children being able to share this passion. Sam enjoys listening to music and knows the words to popular songs. Sam appears to enjoy music in a more general sense and often asks to go to the music room to play drums, sing or play on the organ.

Sam still struggles sometimes when he loses in a game. However, he continues to work hard at this in Dragon Group and this filters into his play in general. He is getting better at being in a team, sharing, turn taking etc. but all this remains hard for him. He becomes competitive and despairing about being a loser or about losing out very easily and quickly. He gathers things to himself and can hoard things in his room. These things make him feel secure.

Sam is not a leader in groups but enthusiastically does his best to join in and offer his ideas. He can get overexcited or feel upset easily and then finds it hard to keep coping in a group. He frequently places himself at the edge of a group in a very obvious way if he wants to let us know he is not happy.

If you need to remind Sam that you have a name and that you like it when he talks to you and uses it. Remind Sam what he is working on in Sunset. Encourage Sam to listen to the end of sentences and to praise him when he does this well.

Make sure that you are listening to Sam. Sam must experience adults working closely together, in order to give consistent messages to Sam. Respond with open questions when possible, to help Sam let adults know what he thinks and wants.

Remind Sam that he has a bin in which he can urinate. Adults must empty this and praise him for using it.

Encourage Sam to make his own decisions. You may have to offer him some choices, as simply asking him to make his own mind up may not feel safe enough.

For adults to record Doctor Who and allow Sam to watch this if it is appropriate for his age. To continue to talk to his carers about this.

For adults to encourage Sam to play with other children and to appeal to his humorous side so that losing is easier for him. Give his strategies to get back in to a game in a group.

Praise him for sharing, playing well etc. Tell him what he could be doing.



Emotional and Behavioural Qualities

Overall Sam's levels of aggressive or confrontational acting out have decreased to a noticeable extent. He has increased self control. He makes more use of words and non-aggressive behaviours to express his feelings.

Sam continues to develop more positive and more robust self-esteem. His emotional state remains fragile and his behaviours still reflect how quickly he collapses into despair and anger. He has a strong sense of injustice and fairness. When Sam is struggling he can instantly be close to tears or suddenly say aggressive things. He still uses physical aggression on occasion, usually when he is highly frustrated; however, this is far less than previously. He now predominately uses threats and screaming to express frustrations e.g. at not getting his own way. Sam is increasingly able to reflect on his actions or motives and can talk in a more coherent way about his past experiences. Sam has often wanted to talk about these difficult things in a frank and honest way, which can be difficult for other children who are present during these times. Sam's verbal communications are clearer and more straightforward now, although adults still need to be patient and let Sam say things in his own time. He less often presents as lost in his own world. He continues to struggle with listening, although this is improving. He needs support to stay focused or on track with a meal or meeting. Sam is now sometimes able to resist retaliating if other children are aggressive towards him.

Sam is more secure in his own choices and judgements but is still occasionally led by the behaviour of others and will become carried away, lost and sometimes overwhelmed, e.g. barricading alongside other children. However, as mentioned he can also increasingly take responsibility for his own behaviour and think about his behaviour or emotional state.

Sam now rarely climbs trees to deal with his feelings and this could reflect these feelings being worked with in therapy. Sam's ability to think and reflect on these in a more appropriate manner in the house and also regular contact with his family. He seems to be expressing his frustrations and finding a safe place to be. On occasion Sam still struggles with transitions. See also 'transitions' below.

Sam now urinates far less on his bedroom floor, and is able to use a bin provided for this purpose. It seems that Sam does remain anxious about moving around during the night, but is able to talk about this with adults. Sam often talks about having bad dreams about monsters. However, he is able to verbalise his fears about night times and seems to appreciate an adult taking the time to settle him, during which he enjoys stories and his arm being stroked to sooth him. Sam responds well when an adult praises him for urinating in the bucket opposed to the floor. Adults believe that his urinating remains a communication about his emotional state. The disposal of the urine is also a way for adults to let Sam know that they are thinking about his communications.

Make sure that we are celebrating Sam's achievements without this becoming overwhelming for him.

Be clear with Sam about which bits of his behaviour are not OK and which bits are good. He needs to know what is not OK so he can feel proud of doing the right things.

Encourage Sam to talk about difficult things in the right places and when the time is right, i.e. not at night and to be sensitive to other children being present. Adults to be aware of Sam's emotions post these conversations and to speak to Caryn about these.

For adults to remind Sam of his individual target in the house.

Encourage Sam to make his own decisions. You may have to offer him some choices, as simply asking him to make his own mind up may not feel safe enough.

Leave bathroom light on for him during the night. Be clear that we want him to use the toilet. Offer praise. Also be open to any other thoughts he has about wetting and bring these to the team to think about

<p>Self care skills / primary care needs:</p> <p>Sam is able to wash and dress himself though sometimes enjoys an adult helping him. He needs reminding to clean his teeth. He enjoys having his hair washed and playing in the bath.</p> <p>Sam has generally been in good health over the last six months. He is an active child who enjoys chasing games and running around. He is keener to play football and join in with other children in such games. Sam has had no further complications with the arm that he broke last year.</p>	
<p>Identity and Social Presentation</p> <p>Sam's sense of self is very fragile and he very easily feels that things are not fair or that he is being deprived. He often assumes that adults will say no to any request he makes. He can talk about how he feels about himself. He often sees himself as no good, not able and left out. He puts this in terms of others not doing right by him. However, he is often able to take pride in his achievements and invest himself in things. He has shown pride when receiving certificates and when awarded tidy room award. On occasion Sam has spent a large amount of time tidying his bedroom and making it look nice. However, when he is frustrated he still destroys or damages things he has achieved or in which he has invested (e.g. his room needs lots of adult input to remain pleasant.)</p> <p>Sam usually dresses appropriately but will sometimes need encouragement to wear enough clothes when playing outside in colder weather. If he is upset this can be seen in his more scruffy appearance and refusal to care about his self.</p> <p>During trips out of school his behaviour is generally of a good level and he has appropriate levels of interest in what is going on around him. He enjoys trips out and has responded to adults expecting more of him on trips. Sam will often talk excitedly about trips he has been on.</p> <p>He is able to talk about his family while at school. He refers to his mum by her first name and sometimes as 'my mum.' Sam has been able to talk about his father in a factual way. He has become overwhelmed and interested whilst being in touch with emotion about his father or other difficult experiences in his life. He has been able to talk openly about his father leaving the family. He has done this in various groups in the school.</p>	<p>Praise Sam regarding his achievements to encourage positive feelings about himself. Encourage Sam to listen to what adults are saying to him and to not make assumptions about what is being said/asked of him.</p> <p>Listen to Sam if he talks about his family or life story. Ask questions if you feel comfortable. If necessary, offer to continue the conversation at a "good time" and explain why now is not a good time.</p> <p>For adults to be open and honest with Sam about his father's being away from the family and to encourage Sam to speak about this at the most appropriate times, either with Caryn or other adults. Be interested if Sam wants to talk about himself. Adults should be prepared to ask Sam if he is talking about his father if you are not sure.</p>

<p>Cultural Awareness and Needs</p> <p>Sam has little cultural awareness. This is typical for a white child at his age and stage of development. Sam recently became anxious around the arrival of a new Sunset child who has a particularly non-Caucasian name. Sam was anxious and intrigued by the skin colour of the new child and where he comes from, suggesting an awareness of differing cultural identities.</p> <p>Sam is aware that he originally comes from London and that this is similar to other children in the house. He is aware that he doesn't live with his mum now and he comments on the differing experiences of living with Sheila, visiting his grandparents and living with the Smiths. For some time Sam seemed to have a blurring of where the school boundary ended and where the Smith's home began. However, Sam now seems more comfortable to be at school in term time He is able to talk about his family home, foster home and school and his feelings about them.</p> <p>Sam is more comfortable with the mix of cultural elements he gains from his family, foster placement and school. He holds onto his own interests e.g. Doctor Who, in all these places.</p>	<p>Sam will develop an understanding of others cultural and ethnic heritage and the importance of this through the education curriculum and via day-to-day living in he household.</p> <p>To encourage Sam to talk about his identity and that his early experiences of culture are different to his present experience</p>
<p>Adaptation to the daily routine / how he copes with transitions</p> <p>Sam is comfortable with the daily routine but needs high levels of adult attention for him to stay 'on track'. Sam still often does things very slowly to hold adult attention or communicate his bad mood. His personal hygiene continues to improve and Sam still requires encouragement to have a bath, do his teeth and dress himself. Sometimes, Sam struggles to accept primary care e.g. Sam will become stubborn about having a bath when asked. Sam has a good understanding of how to dress himself.</p> <p>Sam will struggle to get on with his own day if he thinks other children are getting away with not doing so. He can sometimes take pride in keeping himself on track.</p> <p>Transitions within school now seem to produce less anxiety for Sam but he still benefits from close adult involvement and support. Sam runs off on occasion, but this seems to be to a lesser degree.</p>	<p>Continue to praise Sam for doing well in getting on with is day.</p> <p>It is important Sam does not feel he can demand adult attention through challenging behaviour. Try to offer him a reasonable level of input rather than getting into conflict over his rudeness etc. Appeal to Sam's 'bigger' nature and also his sense of humour when asking him to do things. Sometimes making them a game can help. Explain why you are asking him to do something.</p>

When returning from visits to his family, Sam has been able to ask for support and although has struggled on occasion, has been able to talk about these visits in a coherent way, allowing adults to help him	Adult interaction and closeness is important and touch support has proved to be effective in keeping Sam on track For adults to give Sam the option to talk about visits to his family on his return.				
House	Sunset	Keyworker	Natalie Hardman	Date	07.06.2006

<p>Health Care / Medical Needs</p> <p>Last check up for: LAC Medical: 14/07/06 Dental: 21/02/06 School Health Check: 12/07/05 Optical:</p> <p>Weight: Height: Prescribed Medication:</p> <p>Changes since last health assessment:</p> <p>Any specific concerns about the child's health / development milestones:</p> <p>Consultants / Other Relevant Medical Follow Up Care:</p>	
--	--

<p>In the Classroom:</p> <p><u>Significant changes since the last review</u></p>	
<p><u>Relationships to other children and teachers in class</u></p> <p>Sam is happy to work or play with the other children in class. He is popular and able to play in a range of situations (e.g. role play, board games, Lego). He is able to share with others, and is seen by others as friendly and easy to get along with. He can work well with any of the adults, though will sometimes protest if he is not working with Georgina.</p>	
<p><u>Attitude to learning and being taught</u></p> <p>Sam is able to see that he has made progress, but can still be reluctant to work. In order for Sam to willingly undertake work he has to see it as a fun activity, he cannot accept that some work is necessary to help him improve skills but may not be as entertaining as he would like. His attitude to reading has improved since he has found that there are some books which he enjoys and which he can read fluently. Sam enjoys working on the computers and interactive white board.</p>	
<p><u>Preferred ways of being taught or that he is most responsive to</u></p> <p>Sam enjoys practical and creative activities. He also learns well through computer based work and particularly through group work on the interactive whiteboard. Sam can learn through playing games, as he does not see this as work. He is most reluctant to work in a more formal situation, especially if written work is required.</p>	

<p><u>Level of self motivation to learn</u></p> <p>Sam can struggle to get started, though already less so than when he joined the class. Once started he can usually be persuaded to keep going, and can sometimes surprise himself with how enjoyable or interesting he finds an activity. Sam does want to learn, but is also worried by everything he does not already know and can tend to panic.</p>	
<p><u>Changes in the class room functioning since the last review</u></p> <p>Two new children joined the class last term.</p>	
<p><u>Special arrangements made or recommended in the educational day</u></p> <p>Sam attends psychotherapy twice a week.</p>	
<p><u>Characteristics or dynamics that surround him, within the team, across the school and with the external network</u></p> <p>Sam struggles to believe that adults have his best interest in mind. He can still become merged negatively with other children however; he is more easily encouraged to behave as a bigger child. Sam seems to often to preoccupy the adult mind at the MBS to a great degree and then when Sam's acting out decreases, this preoccupation can drop to levels in which Sam can appear quite lost in the adult mind. There seems to be less friction between different parts of the network and there appears to be a growing trust between the network that things are being done with Sam's best interests in mind.</p>	<p>Family-Carers-School communication must be maintained well even when things are going well for Sam and the network.</p> <p>Sam needs to see the network thinking together about him. He also needs to feel us being comfortable negotiating the differences between foster carers, family and school. Listen and talk with him with an open mind about anything he has to say about foster carers or family</p>

<p><u>Home Contact/Family work/Links with Professional Services</u></p> <p>Sam's phone contact with Sheila is still difficult; Sam, although sporadically talking to her, will very often refuse to a point of physical distress. These phone calls have been a focus of tension between Sam's mum and the school. Question: is this still the case??</p> <p>Sam is placed at MBS by the same local authority as another child within Sunset. This has had some impacts e.g. a previous carer of Sam visited in connection with the other child.</p>	<p>Phone calls and work around them are a priority. Key worker should ensure systems are in place.</p> <p>Staff must bear this in mind when making arrangements for either child.</p>
<p><u>Individual Provision / Group Work / Life Story Work</u></p> <p>Sam attends Dragon Group, a weekly provision within the Sunset household that aims to improve cooperation and play in a group. Sam has been able to work hard on his cooperative play and has made improvements in playing in a group, turn taking and having fun.</p>	
<p><u>Individual Therapy</u></p> <p>Sam attends psychotherapy twice weekly.</p>	

Academic Progress

National Curriculum Levels (levels + comments updated July 2006)

In this report the class teacher has made an assessment for literacy, numeracy and science using National Curriculum Levels. Children working at an average level would be expected to achieve National Curriculum Level 2 when they finish infant school (aged 7), and Level 4 when they finish primary school (aged 11).

To make it easier to show progress for children with Special Educational Needs, the National Curriculum Levels below Level 3 are split into smaller steps. The order of these are as follows: P1 – P8, 1c, 1b, 1a, 2c, 2b, 2a.

English

Speaking and Listening: N.C. Level 2c

Sam can communicate clearly. He can express ideas using an appropriate vocabulary. He is getting better at listening to others.

Reading: N.C. Level 1c

Sam enjoys books, and although can feel very anxious about reading he is getting less anxious as he discovers some books which he can read very well. He still tends to panic and guess at a word rather than use his considerable phonic skills to try to decipher the word. He is very slowly gaining confidence. He is able to recognise many of the first 50 high frequency words. Sam doubts his own abilities as a reader, and this can hold him back.

Writing: N.C. Level 1b

Sam is able to write some recognisable simple sentences which communicate meaning. He understands what full stops are for.

Handwriting: 1a

Sam is very proud of his work and keen to show off his achievements. Sam is beginning to join his letters in handwriting practice lessons. He is forming his letters more consistently. He struggles to place a few letters correctly on the line guides in handwriting practice, including lower case "p" and "f".

Spelling: N.C. Level 1b

Sam is beginning to spell some words conventionally, including words with a "th" and "ch" digraph. He has some awareness of the THRASS charts and is beginning to use them to support spelling choices. He is able to use phonic skills to attempt to spell CVC words and is beginning to use some blends and digraphs. Sam still confuses some common vowel sounds.

Mathematics

Number: N.C. Level 2c

© The Mulberry Bush School 2006

N:\wholeschool\School Sec In\Anon ITP okayed by lindsey.doc

17

Sam is making excellent progress with his work on number. He is understanding place value, and using this knowledge to add numbers into the thousands. He can read numbers up to tens of thousands. He still struggles to form all his numbers correctly, for example writing "2" back to front, and needs to practise this. He can recognise odd and even numbers, and is learning his 2 x table.

Shape, space and measures: N.C. Level 2c

Sam can recognise and describe most 2D and 3D shapes. He can tell the time to quarter hour intervals and can work out practical real life problems involving time and duration. He is able to suggest suitable units and measuring equipment for measuring length and mass.

Using and applying mathematics: N.C. Level 1

Sam enjoys solving number problems as part of a group though can tend to worry if he does not immediately know the answer. He is beginning to apply maths skills to real life situations.

Handling Data: N.C. Level 2b

Sam is able to organise data into simple lists and tables. He is beginning to read graphs and charts to extract information. He has been able to gather information about biscuits and record it using tally charts and tables. He is able to read information back from tally charts, bar charts and tables.

Science: N.C. Level 2

Sam enjoys practical science work and is interested in finding out facts. There is currently a clash between science and Sam's therapy time, but he does well in those lessons that he is able to attend.

Information Communication Technology: level 2

Sam is confident in using a range of ICT packages. He is able to locate information, though is still held back by his reading ability. He enjoys using the interactive whiteboard, digital video camera and computers.

Design and Technology:

Sam is able to plan and implement a project, and is beginning to reflect on and evaluate his results. He is creative and artistic, and can apply these skills to practical projects. He enjoys DT lessons.

History/Geography:

Sam has shown a good understanding of changes between the Victorian times and today. He is able to use a range of sources to compile a picture of events, including web sites, books, videos, written and pictorial evidence. His work on Kenya showed an ability to understand differences between life in Kenya and the UK, and to understand regional differences within Kenya.

Art:

Sam has good artistic skills. He works carefully and with imagination. His work on the recent "journeys" topic has been very good.

Music:

Sam joins with the class during music lessons and has been able to learn new songs. He can follow a rhythm with percussion instruments and is learning to follow simple standard musical notation.

Physical Education:

Sam participates well in PE lessons. He can take part in team games, following agreed rules. He is enthusiastic and able. He showed determination when

© The Mulberry Bush School 2006

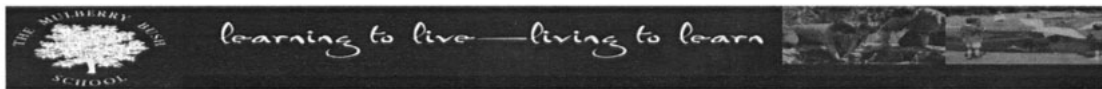
N:\wholeschool\School Sec In\Anon ITP okayed by lindsey.doc

18



practising for the high jump.
 Religious Education:
 Sam has been able to show an interest and understanding in the religious festivals he has experienced. His work on Islam showed an ability to think about other people's beliefs and about his own.

Class Date

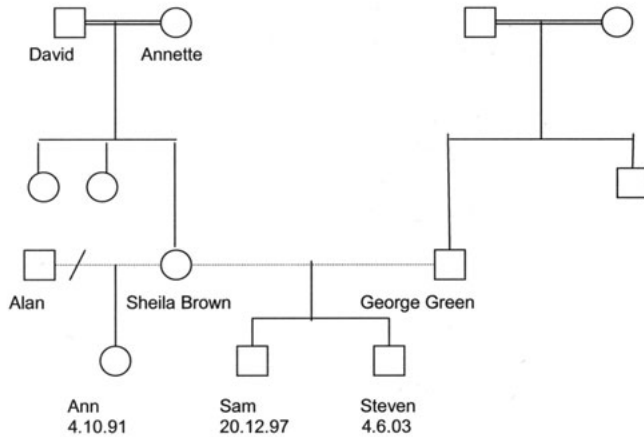


BASIC SKILLS PLAN

NAME: Sam Brown		CLASS: Evenlode		TARGETS SET	March 2006	ASSESSED
AREA OF CONCERN Literacy & Numeracy						
TARGET To work with money up to £1, including addition						
PROGRESS:						
TARGET: To develop confidence with subtraction to 20 and beyond when appropriate (including subtraction using money)						
PROGRESS:						
TARGET: To begin to write whole sentences, using his phonic skills to make his own spelling choices						
PROGRESS:						
WHERE:	ACTION:			RESOURCES:		
	SUGGESTED ACTIVITIES:	FREQUENCY:	WHO IS RESPONSIBLE:	WHAT WILL BE NEEDED:		
CLASS:	1) early work activities using coins; money games; playing shops	During numeracy and early work	Class teacher to direct staff	Games and worksheets, money games and stamps, coins		
	2) whiteboard and ICT work; early work questions; develop subtraction through money topic	During numeracy and early work	Class teacher to direct staff	Shop items, money stamps, money games, coins		
	3) THRASS charts, word banks, clicker 4 resources, computers	During any written activity, Sam to have a go; specific focus in literacy lessons at least twice a week; early work at least once a week	Class teacher to direct staff	THRASS charts and other THRASS resources, clicker 4 resources		
HOUSE:	Daily reading from yellow level book band (<u>see Georgina for advice on suitable books</u>); Sam is able to borrow books from class or read books from the house. Being read to will also help Sam see reading as worthwhile and enjoyable.	As often as possible	House staff	Reading books (see Georgina for ideas)		
HOME:	Total money whenever possible in real life situations; as much reading practise and being read to as possible (simple books using high frequency words). Sam can borrow books from class if this helps.	Whenever possible	Sue and Lawrence	Reading books		
PARENT/CARER CONTACTED:			FURTHER ACTION:			
April 2006						



Overview from the Family Team
(this section of the report has been completed in conjunction with the family)



What made Sam vulnerable in the first place?

- There was conflict in Sam's parents' relationship that he may have witnessed.
- Sam's uncle who was in the family went to prison.
- A month later Sam's father left the family.
- Sam was hospitalised after he set fire to his bedroom. He never returned home after this.
- Sam went into foster care.

What led to the referral to the MBS?

- Sam's behaviour in school and in the foster placement was too disruptive.
- Foster carers had given notice.
- A therapeutic placement was necessary to meet his psychological needs.

What maintains the problem?

- Sam has to cope with going to three different placements: school, foster-carers' and grandparents' home although the arrangements around this seem to work well.
- Sam doesn't have a picture of what the long-term plans for him are.
- It seems to be very important for Sam that his network is working together very closely. Inevitably this is sometimes not possible and leaves him feeling unsafe.

What behavioural and emotional difficulties does Sam have?

- He started two fires at his home (the second, more serious one, a year after his uncle was arrested).
- He has shown fascination for fire at his present foster placement and has talked about it to adults at the Mulberry Bush.
- Non-compliance.
- Some minor sexual acting out at first foster placement, which may have been age appropriate.
- Verbal abuse to adults and children.
- Damage to property.
- Physical aggression to children and adults.
- Has difficulty sharing with other children.
- Merges with other children's difficult behaviour (e.g. barricading).

What is positive for Sam?

- His present foster carers are fond of him.
- His various networks are working together.
- Sam has a regular and reliable contact with his birth family.
- He has had the same social worker for more than a year.
- Placement at the Mulberry Bush, which is able to provide him with "emotionally neutral" boundaries.

Current Situation and Recent Changes in the Network

- CAMHS Witney, Dr Allsopp started an assessment to understand Sam's obsession with fire.
- He had an assessment by Professor Bailey to clarify whether there is a diagnosis of autistic spectrum disorder. We are waiting for a visit of Prof. Bailey to the MBS
- Sam started therapy with Caryn Onions in November 05.
- He has a bedroom on his own since October 05.
- Sam is talking about his father, and his absence. His family, his foster carers and school support this process.
- Social Services is considering future plans for Sam's placement after he leaves the school. Professionals and the family are discussing different possibilities. This process is ongoing and all relevant parties are liaising.
- Sam talks to his mother on the phone more often.
- SW (Susan) and Marie Luise have visited Sheila Brown for a productive discussion.
- They will visit the foster carers in June.
- June 2006

視察先入手資料一覧

帰国後収集資料一覧

* 見出しが数字は視察先で入手した資料、英文字は帰国後に収集した資料を示す

5-1. Sure Start

1. Sure Start North Kensington News Letter January 2001
(Colbone Children's Center (コルボーン子どもセンター) におけるシュアスタートプログラムのニュースレター)
 2. Sure Start North Kensington What's On January 2001
(Colbone Children's Centerで行われているプログラムの具体例)
 3. Teenage Pregnancy Unit
(10代の望まない妊娠を低下させるための施策についての資料)
 4. Bookstart+ キット

内容物 (5-1の写真4。右から)

 クレヨン、Cock-a-Moo-Moo (動物の鳴き声の絵本)、絵本のシール、More Choice for Childcare (子育て資源に関する情報パンフレット)、Numbers are FUN (1~10までの数字が書かれた冊子)、Bookstart: Great Books for Toddlers (子どものための絵本ガイド)、Owl Babies (絵本『フクロウの赤ちゃん』)、Book start Bears love books. (ぬり絵付き自由帳「絵本好きのクマさんたち」)、Bookstart+ Listening, talking, loving, and sharing. (絵本が子どもに必要な理由をわかりやすく解説してある冊子)。これらがカラフルでかわいらしいナイロンバッグに入っている。
 5. Candida Hunt (2003). *The Parenting Puzzle*. Family Link.
 6. Sue Macdonald (2007). *Midwives: The official journal of the Royal College of Midwives*. The Royal Collage of Midwives. (十代の望まぬ妊娠について)
- * * *
- a. Department of Education and Employment and Department for Social Security and Minister for Women (1988). *Meeting the Childcare Challenge: A Framework and Consultation Document*. (“1988年グリーンペーパー”とも呼ばれる歴史的に重要な議会提案書。政府の児童ケアに関する基準を設定したもの)
 - b. 2006年児童ケア法 (サマリー)
 - c. HM Treasury, Department for Education and Skills, Department for Work and Pensions, and Department of Trade and Industry (2004) *Choice for parents, the best start for children: a ten year strategy for childcare* (政府の子育て支援10カ年計画。SureStartはこの計画の中心的施策である)
—*Choice for parents, the best start for children: a ten year strategy for childcare*. (親用パンフレット)
—*Choice for parents, the best start for children: a ten year strategy for childcare*. (専門家用パンフレット)
 - d. Department of education and skills and Department of Health (2006). *SureStart Children's Centres Practice Guidance*. (子どもセンターの実践指針)
 - e. Department of education and skills and Department of Health (2006). *SureStart Children's Centres Planning and Performance Management Guidance*. (子どもセンターの立案と実践に関するマネージメントガイド)
 - f. Self Evaluation for Sure Start Children's Centers (監査機関であるofstedによる監査のための自己評価表)

6 – 1. Kenisngton & Chelsea Social Services (SSD)

1. The Stationary Office. Children's Act 1989.

(1989年児童法。第5部に児童の保護について記されており、児童福祉に関する基本法である。資料に第5部の邦訳を掲載)

* * *

- a. Department of Health, Department for Education and Employment, and Home Office (2000). Framework for the Assessment of Children in Need and their Families. The Stationary Office.
(ソーシャルサービスをはじめとする児童保護に関連する諸機関が共有するアセスメントの基本的枠組み)
- b. HM Government (2006) The Common Assessment Framework for children & young people: Practitioners' guide: Integrated working to improve outcomes for children and young people.
(c.のCAFに関する概説書)
- c. Department of Education and Skills (2006). *Common Assessment Framework for Children and Young People (CAF)*
 - ・ *Guide to definitions used in CAF form* (用語説明)
 - ・ *CAF form* (フォーム)
 - ・ *Pre-assessment checklist* (アセスメント事前のチェックリスト)(SSDをはじめとする児童保護に関連する諸機関が共有するアセスメントフォームシート)
- d. Department of Education and Skills (2006). *Common Assessment Framework for Children and Young People: Supporting tools.*
- e. Children's Workforce Development Council (2007). *Common Assessment Framework for Children and Young People: Manager's Guide.*
- f. Children's Workforce Development Council (2007). *Common Assessment Framework for Children and Young People: Practitioner's Guide.*
- g. Children's Workforce Development Council (2007). *Common Assessment Framework for Children and Young People: frequently asked questions.*
(c～fはコモンアセスメントフレームワークのガイドや「よくある質問」等)
- h. General Social Care Council (2002). *Code of Practice for Social Care Workers and Code of Practice for Employers of Social Care Worker.*
(ソーシャルワーカーとその所属機関のための行動規範。ソーシャルワーカーの資格認定協会が作成している。英国の協会であるが各国語で記された規範がWeb上で公開されており、日本語によるものもある。資料参照のこと)
- i. Home Office and Department of Health (1992) Memorandum of Good Practice: on Video Recorded Interviews on Child Witnesses for Criminal Proceedings. (仲真紀子・田中周子 (訳) (2007) 『子どもの司法面接：ビデオ録画のためのガイドライン』, 誠信書房.)
- j. Home Office, Lord Chancellor, Crown Prosecution Services, Department of Health, and The National Assembly for Wales (2002). *Achieving Best Evidence in Criminal Proceedings: Guidance for Vulnerable or Intimidated Witnesses, including Children.*
歴史的変遷 1991年Criminal Justice Act (刑事司法法) により、性的・身体的虐待を受けた子どもの面接のビデオ録画記録が、法廷証拠として認められた。その具体的な方法指針が*Memorandum of Good Practice* (1992) にまとめられている(仲真紀子 (訳) 『子どもの司法面接：ビデオ録画面接のためのガイドライン』 誠信書房, 2007年として日本でも邦訳出版されている)。1998年に、*Memorandum*を拡大、傷つきやすい成人または脅迫されている成人を対象に含めることが提案され、内務省と多分野連携ワーキンググループによって*Speaking Up for Justice*という勧告書が制作された。この*Speaking Up*の勧告に基づいて少年司法刑事証拠法 (Youth Justice and Criminal Evidence Act, 1999年) 第二部が整備される。さらに2000年、*Achieving Best Evidence* (最良の証拠を得るために) が公表。これは*Speaking Up for Justice* で勧告された趣旨に沿うように、実践指針*Memorandum*を改訂・拡大して、子ども・成人を問わず、傷つきやすい人が法廷手続きにおいて最上の証拠を提示できるような手続きを記した指針であり、*Memorandum*に代わるものとされる。)
- k. Mile Stein and Jim Wade. *Helping Care Leavers: Problems and Strategic Responses.* Department of Health.
(ケアシステムから自立する子どもたちの支援指針)

1. London safeguarding children board (2007). *London child protection procedures*. 3rd Edition.
(ロンドン版児童保護のための手続きマニュアル)

7 – 1. Intensive Parenting Project (IPP)

1. IPP (2006). *Intensive Parenting Project: Annual Report April 2005-March 2006*.
(IPPの年次報告書)
2. *Feelings Self Talk*
(IPPで使用される親支援プログラム、ウェブスターストラットン・ペアレンティング・プログラムで使われる資料)

* * *

- a. Webster-Stratton, Carolyn (1992) *The Incredible Years A Trouble-Shooting Guide for Parents of Children Aged 2-8*; Seattle Published by Incredible years.
- b. Webster-Stratton, Carolyn (1999) *How to Promote Children's Social and Emotional Competence California*
Paul Chapman Publishing

7 – 2. NSPCC (Parkside Clinic)

1. Central and North West London Mental Health NHS. *Parkside Assessment Service Information Pack The Parkside Assessment Service*.
(パークサイドクリニックの紹介)
2. Central and North West London Mental Health NHS and NSPCC *Parental Mental Health Service: Working for parents with mental health problems and their families*.
(親メンタルヘルスサービスの案内パンフレット)

* * *

- a. 田口寿子 (2007) わが国におけるMaternal Filicideの現状と防止対策 -96例の分析から 精神神経学雑誌109 (2): 110-127
- b. Hill & Thompson (2003) Mental and Physical Health Co-morbidity in Looked After Children *Clinical Child Psychology and Psychiatry* 8 (3) 315-321
- c. Ford et al. (2007) Psychiatric disorder among British children looked after by local authorities: comparison with children living in private households *British Journal of Psychiatry* 190, 319-325.

7 – 3. The Lister Primary Health Centre

1. South London and Maudsley NHS. *KEEPSAFE PROJECT: Assessing and helping children and young people with sexually inappropriate or abused behaviors*.
(性的虐待に関する情報提供パンフレット)
2. SOUTHWARK CAMHS *Child Sexual Treatment Service*.
(サウスワーク区の児童思春期メンタルヘルスサービスのパンフレット)
3. *Sexually Abused?: A Young Minds Booklet*. (邦訳済を資料に添付)
(性的虐待に関するパンフレット)
4. South London and Maudsley NHS. *Know your rights and use this freepost postcard to give us your view: Tell us what you think: of Child & Adolescent Mental Health Services*.
(児童思春期メンタルヘルスサービスに関するアンケートのはがき)

* * *

- a. Weeramanthri, T. and Keaney, F.: What do inner city general practitioners want from a child and adolescent

mental health service? Psychiatric Bulletin 24, 258-260 (2000)

- b. Trowell I, Kolvin, I, and Weeramanthri T. et al: Psychotherapy for sexually abused girls: psychopathological outcome findings and patterns of change British Journal of Psychiatry 180, 234-247 (2003)
- c. McCrone, P., Weeramanthri T., and Knapp M et al., Psychotherapy for Sexually Abused Girls
<http://www.everychildmatters.gov.uk/costandoutcomes>

8 – 1. National Children's Home (NCH)

1. NCH. Find out about fostering children.
(NCHのホームページより、里子に関する案内文)
2. Foster Care NCH Broad options *Intensive fostering programme*.
(インテンシブ・フォスターリング・プログラムのパンフレット)
3. NCH (2006). *The Story of NCH and our service in the voices of children young people and families (Annual Review 2005/06)*.
(NCHの年次報告書)
4. NCH. *Welcome to NCH*.
(NCHのパンフレット)

8 – 2. Tavistock Clinic

1. Fostering and Adoption Team Agenda (チームミーティングのレジメ)
2. Julia Granville and Beth Miller (eds.) (2006). *Care Stories : A training film and book for those working with looked-after children and young people*. Edited by The Tavistock and Portman NHS Trust.
(タビストックの研修用DVDと本。かつてlooked-afterの子どもだった青年たちのインタビュー)

* * *

- a. Tavistock and Portman NHS Foundation Trust HPより
 - Tavistock Clinic Patient Services and Department (クリニック部門一覧)
 - 新患用各部門説明
 - Child and Family Department説明
 - Fostering, Adoption, and Kinship Care Team説明
 - The Tavistock Mulberry Bush Day Unit説明
 - 専門機関用説明
 - 患者用パンフレット
 - 在籍スタッフ一覧 (部門別、6種)
- b. Department for Education and Skills (2007). *Care Matters: Time for Change*.
(実の両親と一緒に住めない子どもたちに安全で健康的で一貫した養育環境を提供して、教育の保障をするための方針を記した白書 (政府報告書)。『ケアに関する問題—今、変化のとき』)
- c. Department for Education and Skills (2006). *Care Matters: Transforming the Lives of Children and Young People in Care*.
(bの白書が発行される前に、政府案として提示されたgreen paper (提案書、青書)。『ケアに関する問題—ケアシステムにいる青少年の人生を変えよう』。この青書に対する意見がeにまとめられ、それらをうけてbの白書が作られた)
- d. Department for Education and Skills (2007). *Care Matters: Transforming the Lives of Children and Young People in Care Summary*.
(cのサマリー)
- e. Department for Education and Skills (2007). *Care Matters: Transforming the Lives of Children and Young*

People in Care (Consultation Response Form).
(c.に対する各関係機関からの意見書のまとめ)

9 – 1. The Caldecott Foundation

1. The Caldecott Foundationパンフレット
2. カルデコット防災図面

9 – 2. The Mulberry Bush School

1. Mulberry Bush School Integrated Treatment Plan (邦訳を資料に添付)
(マルベリーブッシュスクールにおける統合的治療計画)
2. 岡本正子氏らによるマルベリーブッシュスクールの視察報告書
3. Annual Review 2006 The Mulberry Bush School *learning to live: living to learn.*
(マルベリーブッシュスクールの年次報告書)

* * *

a. チャーターハウスグループのHPより

—活動内容

—レジデンシャルケアに関する推薦本・論文

—推薦論文3本

- ・ DARING TO TRY AGAIN
- ・ Standards of practice for working with children and young people in a therapeutic community setting.
- ・ Therapeutic Child Care

10 – 1. 児童保護局 Louse Moore氏

1. Department for Education and Skills. (2006) *What to Do if you're worried a child is being abused.*
(『もし子どもが虐待されているかもしれないと思ったら』)
2. HM Government (2006). *Working Together: A guide to inter-agency working to safeguard and promote the welfare of children.*
(『ワーキング・トゥゲザー (共に働こう) : 子どもの福祉を守り促進するための多分野協働ガイド』)
3. Department for Education and Skills. (2006). *Safeguarding Children and Safer Recruitment in Education.*
(『子どもを守るために : 教育分野における雇用のためのガイド』)

* * *

- a. Department for Education and Skills (2007). *Safeguarding Children from Abuse Linked to a Belief in Spirit Possession.*
(『子どもが「悪魔憑きになった」として虐待を受けることから守るために』実践指針)
- b. Department for Children, Schools and Families (2007) *Working Together to Safeguard Children – Safeguarding Children who may have been trafficked.*
- c. Lord Laming (2003) *The Victoria Climbié Inquiry Report.*

10 – 2. ロンドン大学教授 David Gough氏

1. BAPSCAN (英国子ども虐待防止学会) のジャーナル

2. Mary Baginskyの論文

- ・ Responding to change: A survey of local education authorities' responses to the changing policy context of child protection
- ・ Peer mediation in the UK: a guide for schools
(児童保護と教育の関連について質問をした際に推奨された論文)

10-3. 英国児童虐待防止学会会長 Jonathan Picken氏

1. Children's Service — Social Care, Worcestershire Country Council (2007). *Child protection Register*.
(Picken氏が勤めるウイスターシャー州LSCBにおける児童保護登録の基本情報)

* * *

- a. 山上皓 (2002) 「欧米諸国の精神障害犯罪者対策に学ぶ」. ノーマライゼーション 障害者の福祉 2002年9月2号.
(英国のセキュアユニットについての記述がある)
- b. *Children accommodated in secure units, year ending 31 March 2002, England and Wales*.
- c. Statistical Bulletin *Children Accommodated in Secure Units, year ending 31 March 2000: England and Wales*.
(セキュアユニットに入る子どもの統計 (2000年と2002年))

公開講座時に頂いた資料

- d. NSPCC (2006) *Childline casenote*. (電話相談事例ノート)
- e. Department for Education and Skills (2005). *Looked After Children Taskforce*.
(「looked-afterの子どものためのタスクフォース」)
- f. Department for Education and Skills (2007). *Local Safeguarding Children Boards: A Review of Progress*.
(「LSCB: 事業報告書」)
- g. World Health Organization (2007). *Preventing Child maltreatment in Europe: a public health approach Policy briefing*. Violence and Prevention Programme WHO Regional office for Europe; The university of Birmingham.
(「欧州における子ども虐待防止: 公衆衛生からのアプローチと政策」)
- h. NSPCC (2006). *What we do. Facts and figures about child abuse*.
(NSPCCによる虐待に関する統計)
- i. Susan J. Creighton (2003). *CHILD PROTECTION STATISTICS: 4. Criminal Offences against Children*. NSPCC Child Protection Research Group.
(NSPCCによる虐待に関する統計)
- j. Every Child Matters: Change for Childrenより OUTCOMES FRAMEWORK
(子どもの福祉を保証する5要素について、関係機関が改善できたかどうかをチェックするためのシート)
- k. Department of Health (2002). *Children's Homes: National Minimum Standards Children's Homes Regulations. CARE STANDARDS ACT 2000*. The Stationary Office.
(児童福祉施設最低基準指針。2000年ケア基準法に基づく)
- l. Department of Health (2002). *Fostering Services: National Minimum Standards Fostering Services Regulations. CARE STANDARDS ACT 2000*. The Stationary Office.
(里親家庭最低基準指針。2000年ケア基準法に基づく)

10-4. Southwark行政区SSDサービス質的改善ユニット Alasdair Smith氏 (ofsted)

- a. Ofsted Strategic Plan 2007-2010 (オフステッド基本方針)

英国視察 視察スケジュール (最終版)

日付	時間	視察先(場所) 概要	担当者 所在地	備考	時間	視察先(場所) [担当者]	所在地	備考
15日(日)	9:30	成田空港第1ターミナル南ウイング Fカウンター集合			11:40	全田空(ANA) NH201 東京(成田)発	ロンドン(ヒースロー)	同日 18:55
16(月)	11:30 ~ 12:30	Intensive Parenting Project (IPP) (ロンドン Guy's 病院) 子ども、親および親子のグループを行う。	Ms. Alexandra Holt Bloomfield Centre Guy's Hospital, St Thomas Street LONDON SE1 9RT					
17(火)	11:00 ~ 15:00	K&C Social Services(SSD) 日本の児相に近い。児童保護(調査・介入・親子分離等)を担う地方当局。	Kenisngton & Chelsea Social Services (依頼先) Ms Isabel Friedlander, Westway Information Centre, 140 Ladbroke Grove, London, W10 5ND			Golborne Children's Centre 2a Bevington Road LONDON W10 5YU		Sure Start とは、貧民地域の住民で胎児~5歳児を持つ家族への継続したサービスを提供する包括的親子支援サービス。中央政府主管。 ロンドン西部の Kenisngton & Chelsea 区のソーシャルサービスオフィスにて、児童虐待担当のソーシャルワーカーの長と面会。午後は一緒にシェアスタート訪問。
18(水)	8:30 ~ 11:00	Tavistock Clinic 英国屈指の精神分析理論に基づく治療施設。	The Tavistock Institute 30 Tabernacle Street London EC2A Tel: +44(0)20 7417 0407 8:30 集合 8:45 Fostering&Adoption Team Meeting 10:00 同チーム内で心理療法の話を聞くこと にも DVD "Care Stories" を鑑賞 11:30 同チームの仕事について話を聞く		15:00 ~ 16:00	Gough 教授 (ロンドン大学 Executive Director)		David Gough PhD, Social Science Research Unit, Institute of Education, University of London 18, Worburn Square, London WC 1
19(木)					16:15 ~ 17:15	Ms. Jonathan Picken 教授 (BAPSCAN 会長・ロンドン大学) 英国子ども虐待防止学会会長、多分野 断研究に関するアドバイザー。		Ms. Jonathan Picken, Chair BAPSCAN University of London, 18 Woburn Square, London WC1
20(金)		The Caldecott Foundation (Kent) 5歳~16歳までの被害児童のための治療施設。レジデンシャルホームと園内学級がある。	Mr. Clive Lee, CEO Mr. Greg Levitt, Head Teacher Caldecott House, Hythe Road, Smeeth, Ashford, Kent TN25 6SP					
21(土)								
22(日)								
23(月)	9:30	NSPCC(Parkside Clinic) 英国児童虐待防止協会。 120年の歴史を持つ。	Ms. Lindsey Calpin Children's Services Manager NSPCC Parkside Assessment Service/ Parental Mental Health Service 63 Lancaster Road London W11 1QG					
24(火)		The Lister Primary Health Centre	Dr. Tara Weeramanthri 101 Peckam Road SE15 5LT					
25(水)		The Mulberry Bush School (Oxford) 日本の情報に近い治療施設。5~12歳の子どもが入院治療。	Mr. John Diamond, CEO Mr. John Turberville, Director Standlake Near Witney Oxfordshire OX29 7RW					
26(木)	10:00	Ms. Jenny Gray (ロンドン大学) 英国政府児童保護局長官。2003年6月に保健省から教育・技術省の管轄下に移転。	Ms. Jenny Gray London Department for Education and Skills Caxton House Tothill Street London, SW1H 9NA					
27(金)	9:30 ~ 12:00	National Children's Home (NCH) 子どもと家族のサービス提供を担う NGO。130年以上の歴史がある。虐待防止活動としてファミリーセンターを全英各地に運営。	Clare Tickell, NCH Chief Executive Elaine Peace, Director of Children's Services UK South (依頼先) Pam Mattis NCH Headquarters, 85 Highbury Park, London N5 1UD, U.K.					
28(土)	19:35	全田空(ANA) NH202	ロンドン(ヒースロー) 発					
29(日)	15:10	東京(成田) 着	第3ターミナル					

平成19年度研究報告書
イギリスにおける児童虐待の対応
視察報告書

平成20年 3月31日発行

発行 社会福祉法人 横浜博萌会
子どもの虹情報研修センター
(日本虐待・思春期問題情報研修センター)

編集 子どもの虹情報研修センター
〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地
TEL. 045-871-8011 FAX. 045-871-8091
mail : info@crc-japan.net
URL : <http://www.crc-japan.net>

編集 研究代表者 川崎二三彦
共同研究者 四方 耀子
山下 洋
増沢 高
田附あえか

印刷 (株)ガリバー TEL. 045-510-1341(代)